

平成25年度 事業総括

平成25年度は、昨年度に引き続き、年間入館者数50万人を超え、20周年を迎えた今、ますます市民に親しまれるセンターとしてあり続けたいとの思いを強くしています。

また、今後の活動の基本方針となる「グランドビジョン(仮)」策定に向けて、検討委員会を行い、さらに検討委員2名と職員によるミーティングを実施いたしました。秋には、新たな職員2名を迎え、新鮮な息吹を感じるとともに、全職員の資質向上のため、研修計画プロジェクトを立ち上げ、グランドビジョン策定と合わせて、今後さらに人材育成に力を入れていく予定です。

事業運営では、京都市の重点施策である「DV防止対策」と「真のワーク・ライフ・バランス推進」を中心に、男女共同参画の裾野を広げるよう、男性やこれからの時代を担う若年層に積極的にアプローチした事業を展開いたしました。

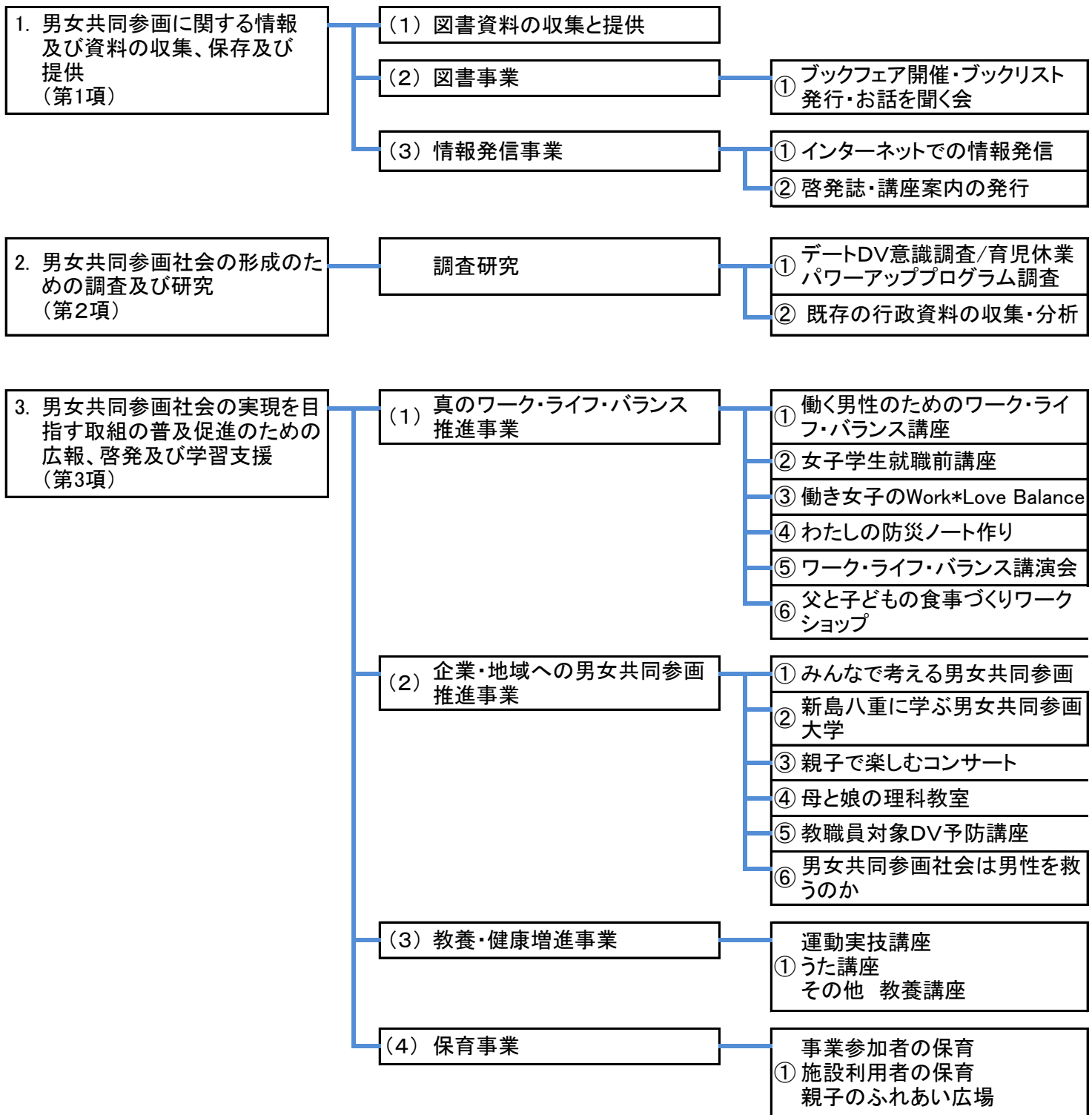
DV防止対策では、高校生を対象にDV防止教育の取組みを推進するための下地となるデートDV意識調査を実施しました。真のワーク・ライフ・バランス推進では、女性の就業継続支援事業としてキャリア形成中の20~30代女性を対象に、ロールモデルとの交流を中心にした連続講座や、男性にとっての男女共同参画を考えるシンポジウムを実施するなど、いずれも男女共同参画を「自分の問題」としてとらえ、共に考えていくというスタイルを取り入れました。

男女共同参画社会の実現に向けた環境は整いつつありますが、私たちの暮らしの中には問題や課題がまだ多く残っています。それらを一つずつ拾い上げ、男女共同参画社会の実現に向けた取組みを進めてまいります。

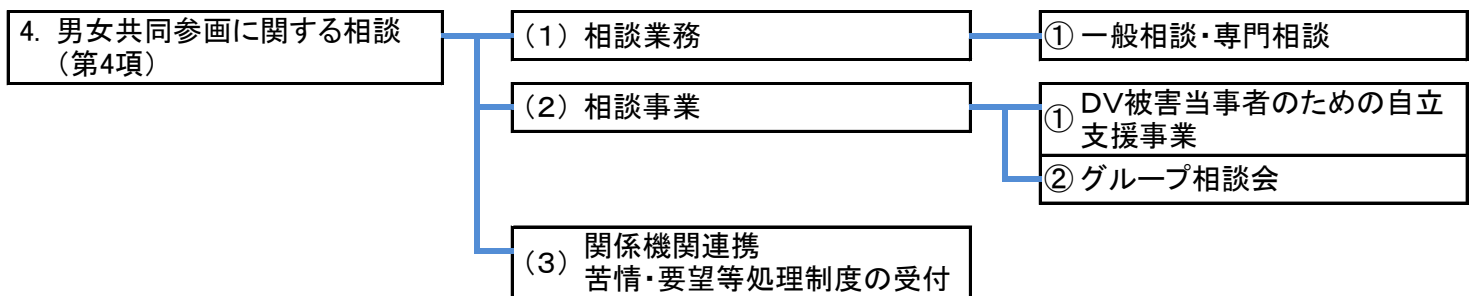
<5年間推移>

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
入館者数	人	480,715	489,997	498,482	506,400	504,342
施設平均利用率	%	85	85	87	90	92
施設使用料収入	千円	61,836	61,206	61,703	63,878	67,344
図書情報室利用者数	人	14,860	14,862	14,189	12,727	12,767
正味財産期末残高	千円	—	—	157,885	172,897	159,625

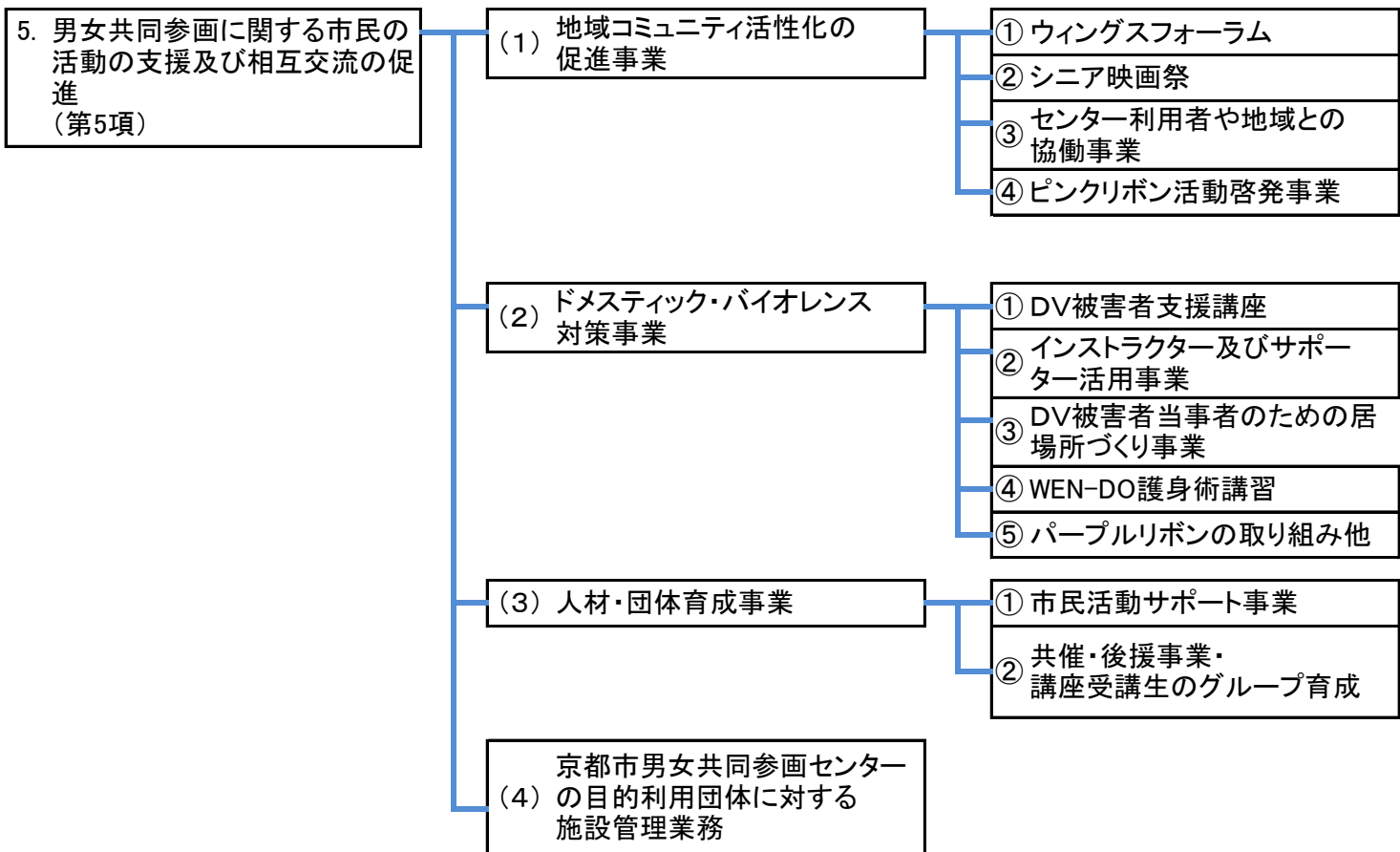
公益目的事業1(定款第4条)



公益目的事業2(定款第4条)



公益目的事業3(定款第4条)



収益事業

京都市男女共同参画センターの目的利用以外への施設管理業務

財団運営

経営管理、組織・人事管理

財務運営

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供	条項	第1項		
事業名	図書資料の収集と提供	担当者	事業企画課 岡本		
講座名					
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進拠点としての情報発信力の向上 1. 男女共同参画に関する情報・資料の収集 2. 図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施 				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	1,100	974	126		

1. 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する情報・資料の収集 1. 図書資料に限らず、コミックやDVD、行政資料等により、男女共同参画に関する情報提供を行う。 2. 図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施
2. 課題
利用者拡大
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の収集と提供<別紙1-1>参照 ・利用者アンケート<別紙1-2>参照
4. 概要と成果
<p>図書をはじめとする様々な男女共同参画に関する情報・資料の収集により、地域の図書室として利用いただいている方から専門資料を求める方まで幅広く情報提供を行うことができた。</p> <p>25年度の貸し出し利用者数は12,767人(前年度12,727人)と若干ではあるが増加。入室者数では89,741人(前年度76,279人)と15%増加した。</p> <p>図書システムのバージョンアップに伴い、3月よりインターネットサービスを開始し、利用者が自宅や携帯・スマートフォンから資料の予約や延長が可能になり、利便性の高いサービスの向上が提供できた。</p>

公益1					(単位:千円)
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供	条項	第1項		
事業名	図書事業	担当者	事業企画課 岡本		
講座名	ブックフェア開催・ブックリスト発行・お話を聞く会				
目的	男女共同参画推進拠点としての情報発信力の向上				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	700	718	△ 18		

1. 事業計画					
<ul style="list-style-type: none"> ・ブックフェアの開催(年4回) 主催事業と関連したテーマによる図書資料等の紹介 絵本・コミック等多様な媒体を用いての男女共同参画推進のための情報発信 ・ブックリストの発行 主催事業のテーマや男女共同参画に関する季節のトピックに合わせた関連資料リストの発行 ・絵本や朗読の自主グループとの連携による図書情報室内での絵本の読み聞かせや朗読を聞く会の開催(月1回) 					
2. 課題					
既存の資料を使った効果的な情報提供と利用者拡大					
3. 実績					
<p>【ブックフェアの開催】 男女共同参画週間 絵本ブックフェア「わたしは私」6/1～6/30 「男女共同参画社会は男性を救うのか？」シンポジウム連動「男も、いろいろある」10/3～10/31 DVに関するブックフェア「他人事ではないDV」11/1～12/8</p> <p>【ブックリストの発行】 「乳がん検診は大事！」わかるブックリスト5月 「わたしは私」6月 「男も、いろいろある」10月 「他人事ではないDV～DVとDV被害者を理解するためのブックリスト～」11月</p> <p>【ミニブックフェアの開催】 タイムリーな話題をもとに月1～2回実施 島森路子氏 追悼／新島八重 関連本／東京国際ブックフェア 今年のテーマ国「韓国」にちなんだ韓国作家特集／山崎豊子氏 追悼／男女共同参画通信「女性と防犯」関連／アリス・マンローノーベル賞受賞 カナダ・アラスカ作家／ハンナアーレント特集／「シニア映画祭」連動 産婦人科医 北山郁子さん著作／リケジョ特集(STAMP細胞発見 女性研究者の生き方) 等</p>					
4. 概要と成果					
<p>ブックフェアでは、主に主催事業と関連した図書資料の紹介を行い、事業テーマへの関心を深めた。また、世の中のタイムリーな話題をもとに小規模のブックフェアをこまめに開催し、常に動きのある図書室を提供した。その成果があり、年間の入室者数が昨年より15%UPした。</p>					

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供	条項	第1項		
事業名	情報発信事業	担当者	事業企画課 山本・久保		
講座名	インターネットでの情報発信				
目的	事業案内・新着図書などをホームページやメールマガジンで紹介する。 また、ブログ、Facebook、Twitterなど、即時性と拡散性を備えたツールを利用して効果的な情報提供を行う。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	1,450	1,014	436		

1. 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの更新(月1回) ・ メールマガジン「Wings Press」(月1回・号外) ・ 図書情報室ブログ「まちなかの本の森」(随時) ・ Facebook(随時) ・ Twitter(随時)
2. 課題
効果的な情報提供とセキュリティ対策 担当者のソーシャルメディアのコミュニケーションスキルやテクニカルスキルの向上
3. 実績
<別紙2>参照
4. 概要と成果
<p>ホームページについては、CMS(コンテンツマネジメントシステム)を使って、職員が更新を行っている。グーグル、Yahoo等の検索エンジンで「ウイングス京都」「男女共同参画京都」等のキーワードで、検索結果3位までに入るよう対策を行っており、ホームページへのアクセス数も伸びている。WEBによる広報に関しては、各係からの担当者による会議において、各媒体に掲載する内容を検討、運営を行った。</p> <p>即時性のあるトピックスはツイッターやフェイスブックで発信し、口コミの広がりをねらうとともに、情報の詳細を確認できるホームページへとつなげている。ホームページとブログ・ツイッター・フェイスブックの連携については、特徴的な取り組みがあるとして、国立女性教育会館の調査を受け、「女性関連施設の情報事業に関する調査報告・事例集」に掲載された。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供	条項	第1項		
事業名	情報発信事業	担当者	事業企画課 寺田・山本		
講座名	啓発誌・講座案内の発行				
目的	男女共同参画に関する情報発信				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	1,900	2,028	△ 128		

1. 事業計画
啓発誌(男女共同参画通信)の発行 本冊 年3回 各20,000部 別冊 年1回 10,000部(予定) 講座案内(ウイングスきょうと)の発行 年6回 各 8,000部
2. 課題
啓発誌(男女共同参画通信)／タイムリーで訴求効果のあるテーマの選定
3. 実績
「京都市男女共同参画通信」の発行(担当:寺田) 【体裁】本冊:A5版 カラー 4ページ／別冊:A5版 カラー 16ページ 各20,000部 【配布先】市内各文化施設 市内大学 他都市関連機関等 【タイトル】vol.32「女性も担う、防災・復興」8月 vol.33「DV家庭にいる子どもと、本当に大切なこと」11月 vol.36「女性の貧困を知っていますか？」2月 別冊 「ダンジョキョウドウサンカクって誰のものだ!？」3月 講座案内「Wings Kyoto」の発行(担当:山本) 【体裁】A4版 単色 4ページ 各8,000部 偶数月1日発行 【配布先】市内各文化施設 市内大学 他都市関連機関等
4. 概要と成果
より多くの市民、事業者等に男女共同参画について理解してもらうため、身近なテーマを取り上げ、絵や数値、グラフ等を用いてわかりやすく解説する啓発冊子「男女共同参画通信」を発行した。本冊においては、「防災(災害)と女性」「DV家庭に育つ子ども」「女性の貧困」、別冊においては「男性にとっての男女共同参画」をテーマに取り上げた。なお、別冊については男性誌をイメージした装丁や、インタビューを主体とした内容など、男性でも手に取りやすい紙面を工夫した。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の形成のための調査及び研究	条項	第2項		
事業名	調査研究	担当者	事業企画課 山本・久保		
講座名	デートDV意識調査／育児休業パワーアッププログラム調査				
目的	京都市における若者のDVに関する意識調査を行い、予防啓発に取り組むための下地をつくる。 これまで実施してきた「育児休業パワーアップ講座」の効果や影響について追跡調査を実施し、今後のプログラム開発につなげる。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	800	699	101		

1. 事業計画
京都市域に拠点を置く高等学校に在籍する学生を対象に実施したデートDVに関する意識調査の結果をまとめ、今後の予防啓発につなげる。 過去の「育児休業パワーアップ講座」の参加者へのアンケートと、ヒアリングによる追跡調査を実施・分析
2. 課題
分析結果の効果的な活用方法／ヒアリング協力者の確保
3. 実績
京都市内に拠点を置く高等学校に調査協力を依頼し、協力を得られた5校に在籍する学生を対象に調査票の配布(1,856件)と回収(1,296件)を行うとともに、集計・分析を行った。 講座受講生に対し、アフター会での聞き取り調査を実施した。
4. 概要と成果
平成24年度に引き続き、京都市域の高校生に対しデートDVに関する意識調査を実施し、分析及び報告書を作成した。次年度に向けて、平成23年度に実施した、京都市域の大学生に対するデートDV実態調査もふまえ、今後の啓発に活かせる資料づくりをすすめたい。 平成23年度、24年度の育児休業パワーアップ講座のプログラムを考察し、受講生への聞き取りをもとに、女性の就業継続に必要な課題を抽出した。次年度は、過去に男女共同参画講座を受講された京都市内の事業所への聞き取り調査を行いモデルケースの導入を検討したい。さらに企業への提案を目指し、男女共同参画の視点に立った女性の就業継続支援プログラムの開発に取り組みたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の形成のための調査及び研究	条項	第2項		
事業名	調査研究	担当者	事業企画課 山本		
講座名	既存の行政資料の収集・分析				
目的	くらし、意識、教育、社会参画、労働、健康福祉などの項目について、既存の行政資料を利用し、京都市の男女共同参画の現状を表とグラフで表したデータブックを作成する。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	220	172	48		

1. 事業計画
「男女共同参画データブック」の作成
2. 課題
有効な利用促進
3. 実績
<p>データ項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 男女共同参画に関する意識 2. 男女共同参画の現状 3. ワーク・ライフ・バランスの推進 4. 女性に対する暴力 5. 京都市男女共同参画推進条例 6. 女性の人権・男女共同参画に関する国内外の動き 7. 京都市男女共同参画センター ウィングス京都の紹介 8. 「みんなで考える男女共同参画講座」の紹介
4. 概要と成果
<p>男女共同参画に関する白書、公表資料、京都市の行政資料などをもとに、男女共同参画データブックを作成した。</p> <p>今年は、「固定的性別役割分担意識」を肯定する数値が最近増えてきていることを受け、グラフの出し方や現象についての解説を改めた。</p> <p>冊子は「みんなで考える男女共同参画講座」のテキストとして使用するだけでなく、DV被害者支援に関する講座などでも、京都市のDV被害者の現状を見るための資料として活用した。今後も、男女共同参画に関する講座・事業等に活かせる誌面作りをめざしたい。</p>

公益1					(単位:千円)
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3項		
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業	担当者	事業企画課 市原		
講座名	働く男性のためのワーク・ライフ・バランス推進事業				
目的	働き盛りの男性を対象とし、ストレスマネジメントを中心に、仕事中心の価値観を問い直し、健康で個性を発揮した生活を送るきっかけを提供する。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	410	244	166		

1. 事業計画	
「ストレスマネジメント」「健康」「ワーク・ライフ・バランス」をテーマに講座を開催。キャリアの振り返りとこれからの人生設計を通してジェンダー/性別役割分担意識に対する気づきを得る。	
2. 課題	
企業や組合等の連携による参加者の確保	
分析結果の効果的な活用方法/ヒアリング協力者の確保	申込者数/定員
A「進化する。男のキャリアドック ～ストレスをマネジメントする～」 日時:8/30(金) 19:00～20:30 全1回 講師:千葉征慶(産業カウンセラー、臨床心理士)	A 15/15 B 18/15 C 27/25
B「深化する。男のキャリアドック ～未来をプランニングする～」 日時:9/13(金) 19:00～20:30 全1回 講師:千葉征慶(産業カウンセラー、臨床心理士)	参加人数(のべ) 60
C「働く男性の家事研修～家事を笑顔でワークする!～」 日時:3/1(土) 17:00～19:30 全1回 講師:三木智有(NPO法人tadaima! 代表)	定員充足率 A 100% B 120% C 108%
4. 概要と成果	
<p>男性対象講座の主流である‘料理’‘イクメン’の2点を敢えて外して企画した講座である。単に男性の受講者を集めることに主眼を置かず、男性がジェンダーに気づき解消することで得る効果を受講者自身の声から私たちが学ぶべきだと考えた。</p> <p>まず、男らしさから自分らしさへの転換が人生と仕事のキャリアに欠かせないはずだ、という視点で、キャリアドック講座(2回)を開催した。1回目の講座では、ストレスマネジメントを掘り下げの中で、各自が持つ男らしさに気づき、その解消について講師の経験を交えて共有した。2回目のキャリアプランニングでは幼少期から今までを各自が振り返り、自分らしさを捉え直した上で未来を描いた。講座後は、アフター会を2回開催し、働く男性の自主グループが立ち上がった。</p> <p>3月に開催した家事がテーマの講座は、組織研修の一環として実施した。ワーク・ライフ・バランス推進だけではなく、ジェンダー解消の手応えを得るために、働く男性が家事に向き合うワークを取り入れた。最初は消極的な様子だったが、家事が持つ役割や家事を通じたコミュニケーションを学ぶにつれ、受講者の意見が活発に出始めた。特に、家事を通して子ども(次世代)に学んで欲しいことを考えるワークでは「家事は生活力だ、男性も女性も身に付けるべきスキルだ」という意見があり、これを広く共有できた意義は大きい。</p>	

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3項		
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業	担当者	事業企画課 水野		
講座名	女子学生対象就職前講座				
目的	就職前の次期に、社会の現状を知り、ジェンダーの気づきを得ることで、社会的・経済的に自立できるライフプランを立てる。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	300	44	256		

1. 事業計画
「働くこと」をジェンダーの視点で分析し見直すための講義とワークショップ(90分×3回)
2. 課題
大学との連携 プログラム見直し(H24は全2回(90分×2回)で実施)
3. 実績
<p>※当初の計画より変更し、会場をウイングス京都、開催形式をワークショップ形式とし、募集方法も一般公募とした。 << 定員24名/応募者数および参加者7名 定員充足率29.2% >></p> <p>【講座名】 就活を見据えた学生ライフのプランニング～「セルフ・エスティーム」と私のライフデザイン～</p> <p>【日時】 平成26年2月10日(月)10:00～16:00</p> <p>【会場】 ウイングス京都 セミナー室B(2階)</p> <p>【講師】 金香百合(HEALホリスティック教育実践研究所代表・日本ホリスティック協会副代表)</p> <p>【内容】</p> <p>第1部 講義&ワークショップ 「自分に出会う&他者に出会う&社会に出会う～ホリスティックな学生ライフが、就活成功につながる～」</p> <p>昼食 みんなでだんらんランチ</p> <p>第2部 ワークショップ「Enjoy!“無限大”の学生ライフ ～私の夢と今のわたしに必要なこと～」</p>
4. 概要と成果
<p>講師や講座担当者と「働くこと」「生きること」について語ることにより、学生たちは、性別に関係なく働き方も生き方も多様であることを肯定し、また自身を含め多くの人々がジェンダー観に捉われ悩んでいることへの理解を深めた。また、今後の人生や仕事で障壁と対面した際、あるいは岐路を目前に重要な選択を迫られた際、それらを乗り越える原動力となり、自分の意志で選択し歩いていくベースとなるものは、「セルフ・エスティーム」(自己肯定感情)であることを学んだ。</p> <p>プログラム終了時には学生間のネットワークが生まれ、SNSを利用するなどしてつながりを維持。また、参加学生のなかには当協会の他事業に関心を持ち、自身が所属する団体との協働を提案する学生や、後に実施したセミナーに参加する者も現れた。</p> <p>若年層の施設利用率、啓発事業への参加率が低い現状から、本事業に限らず協会にとって、ウイングス京都にとって明るい兆しを見い出せる結果となった。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3項		
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業	担当者	事業企画課 市原		
講座名	働き女子のWork * Love Balance				
目的	女性の就業継続支援として、働く女性同士がつながり、楽しんで働き続けることを共有できる場を提供する。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	450	418	32		

1. 事業計画	
働くことへの「やりがい」や「充実感」を確立途中の20～30代の女性を対象に、働くことを通して自立する女性のエンパワーメントを目指す。 カフェ形式で実施することにより、ロールモデルや参加者同士の交流を深める。また、専門家からマネープランやキャリアプランを学ぶことにより、モチベーションを高く長く保つコツを学ぶ。 全3回 平日夜間(カフェ形式)2回及び土曜日昼間(ワークショップ)1回×2(前期・後期)	
2. 課題	
キャリア形成中である20～30代女性の受講者確保	
3. 実績	申込者数/定員
A「Work * Love Balance カフェ ① 家庭と職場☆私のバランス」 日時:6/25(火) 19:00～20:30 全1回 講師:小上陽子(ヨガスタジオTAMISA代表)	A 22/20 B 30/20 C 20/20 D 58/50
B「Work * Love Balance カフェ ② 職場の笑顔がスキルになるとき」 日時:7/30(火) 19:00～20:30 全1回 講師:野崎治子(株式会社堀場製作所管理本部副本部長)	参加人数(のべ)
C「Work * Love Balance カフェ ③ 未来を学ぶ! 私のマネープラン」 日時:8/24(土) 14:00～16:00 全1回 講師:佐々木良子(ソニー生命保険株式会社エグゼクティブライフプランナー)	130
D「『Lean in 女性、仕事、リーダーへの意欲』を読み解く」 日時:12/20(金) 14:30～17:00 全1回 講師:国谷裕子(NHKクローズアップ現代キャスター) 石堂裕三(石堂硝子株式会社代表取締役社長) 佐々木良子(ソニー生命保険株式会社エグゼクティブライフプランナー) 木村祐子(株式会社堀場製作所経営戦略部)	定員充足率 A 110% B 150% C 100% D 116%
4. 概要と成果	
<p>働く女性を対象としたカフェ形式の3回講座では、「育児との両立・働きがいとチャンス・働き続けるモチベーション」というテーマを明確にする一方、就業継続に不安を感じる気持ちを汲み取るかたちで広報及び講座内容を実施し、30代を中心とする多くの働く女性に受講頂くことができた。就業意欲を高める中でジェンダーへの気づきがあり、受講者からは「漠然とした不安を解消できた」「目標を持って働き続けたい」という声が多数寄せられた。</p> <p>全米始め世界で話題となった書籍『LEAN IN』を読み解くパネルディスカッション形式の講座では、働く女性とその環境(人事部、管理職など)を対象とした。‘女性の内なる障壁’‘真のパートナーシップ’‘平等に向けて一歩前進すること’をテーマに掲げ、各分野で活躍する講師が本音でテーマと向き合った結果、会場は「会社だけではない、日本や世界の社会はまだ不平等なんだ」という想いを共有することができた。女性の活躍推進に向けて世界中が動き出している、という講師の言葉に勇気付けられたという声が多かった。受講生と講師でLEAN INプロジェクト(SNSでの決意表明)を立ち上げて、働く女性活躍のための課題解決を目的とした取組みを継続している。</p>	

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3項		
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業	担当者	事業企画課 久保		
講座名	わたしの・みんなの・暮らしを守る力を高める！わたしの防災ノート作り				
目的	子育てをしながら働く女性が、防災・減災対策を確認し情報交換を行うことで災害に備え、安心して働ける講座を開催する。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	230	262	△ 32		

1. 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の女性の困難と対策(震災時の事例を聞く) ・地域の防災・減災をジェンダーの視点で確認する ・家庭単位で防災・減災に備えるためのシートを作成する <p>対 象:町内会・女性消防団員、働く女性、PTA、保育士など</p>
2. 課題
<p>京都市の防災危機管理室、消防局、消防団、保育園連盟等、関連組織との連携(女性防災会議)</p> <p>取り組みを拡げるための協力体制・ネットワークづくり</p>
3. 実績
<p>●プレ事業「女性の防災力向上ミーティング」</p> <p>地域の女性消防団員を中心としたメンバー11名で、女性の視点で地域の防災・減災についてのプレ事業「女性の防災力向上ミーティング」(全3回)を立ち上げ「Kyotoわたしの防災ノート」をの素案を作成した。</p> <p>●講座「わたしの・みんなの・暮らしを守る力を高める！わたしの防災ノート作り」</p> <p>【日時】3月16日(日)13:00～16:00</p> <p>【講師】正井礼子(NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ代表理事)</p> <p>【内容】災害時に女性が抱える困難について学び、女性のニーズや多様性に対応できる視点を養うとともに、「わたしの防災ノート」を使用したワークで、家庭や地域の備えや課題を確認した。</p> <p>【協力】京都市行財政局防災危機管理室・中京区役所地域力推進室防災担当・中京消防団日彰消防分団・日彰社会福祉協議会・中京消防団竹間消防分団</p>
4. 概要と成果
<p>プレ事業、講座を通して地域の女性たちとともに「Kyotoわたしの防災ノート」を発行した。講座で実施したアンケートによると大変満足が56.7%、満足が43.3%と、参加者の満足度は100%と、非常に高かった。講座終了後も事業と防災ノートに対する問合せは多く、「女性の視点での防災」に対する市民の関心の高さを認識した。今後も地域との関係を堅持していきつつ、次年度は、みんなで考える男女共同参画講座で「わたしの防災ノート」を使った学習を地域に拡大していきながら、支援者を対象にした学習会を開催し、地域の防災を担う女性のネットワークを構築していきたい。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3項		
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業	担当者	事業企画課 市原		
講座名	ワーク・ライフ・バランス講演会				
目的	仕事と家庭の調和を図り、自分らしい生き方を提案するための講演会を実施する。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	770	406	364		

1. 事業計画	
全1回 講演会(イベントホール)実施	
2. 課題	
ジェンダーの視点での内容設定と集客に向けた広報先の獲得	
3. 実績	申込者数/定員
【日時】3/29(土)14:00~15:30 全1回 【講師】ナカムラケンタ(株式会社シゴトヒト代表)聞き手:高橋マキ(文筆家) 【講演会名】「いま、生きるように働く人」 【内容】人と仕事、仕事と地域をつなげるプロフェッショナルとして活躍するナカムラケンタさんを講師に迎え、新しい求人サイトである日本仕事百貨で取り扱った求人例を掘り下げること、これからの仕事や生き方と真のワーク・ライフ・バランスについて考える講演会を実施した。	89/240
	参加人数(のべ)
	77
	定員充足率
	32%
4. 概要と成果	
<p>真のワーク・ライフ・バランスにおける「充実感を感じながら働くこと、家庭や地域でも生きがいを得る好循環から、各自が‘つながり’を再構築する」という視点を持って働き・生きている方々を事例として紹介できた。講師が職種や所属に捉われず働くことで人や社会に貢献していることや、講師自身の経験を単なる成功例として共有するだけでなく、困難をどう乗り越えてきたか、その工夫の中にある性別役割分担意識に捉われない考え方などをお話し頂いた。</p> <p>本講演会は、男女共同参画を進める上で、より広くアプローチしたいと考える20代を中心とした働く人々を対象としたが、広報先や方法に課題が多く集客は低かった。但し、参加者の約8割が20代から30代であったこと、男性の参加者も多かったことは、新しい取組みが実を結んだ効果と言える。</p> <p>若い年代へのアプローチは集客に課題が多い。しかし真のワーク・ライフ・バランスの特徴は若い年代に希望を与えるものであり、次年度も継続して啓発に取り組みたい。</p>	

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3項		
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業	担当者	事業企画課 久保		
講座名	ママに“自分時間”をプレゼントしよう！父と子のパンづくり講座				
目的	子どもとのパン作りを通して父親が家事や育児の楽しさに気づき、積極的に家庭に参画することを目的とする。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	160	84	76		

1. 事業計画		
父親と小学生の子どもを対象に「パン作り」を行う。焼きあがるまでの時間を利用し、男女共同参画に関する意識調査等のデータをもとにジェンダーに気づくワークショップを行う。		
2. 課題		
ジェンダーに気づくための効果的なワークショップの実施		
3. 実績		
<p>父親と子どもで協力してパン&ランチ作りに挑戦し、家事デビューを目指した。</p> <p>子どもとの共同作業を通して、男性が家庭に参画することの喜びと大切さに気づき、自分らしいワーク・ライフ・バランスについて考える機会とした。</p> <p>【日時】7月27日(土)・8月3日(土)10:00～13:30 【講師】寺田玲子(粉屋アカピーノ主宰) 【場所】調理コーナー 【対象】父親と小学生の子ども 各10組 働く母親を応援する、男性・子どもの生活自立支援事業 共催:全国女性会館協議会、日本テトラパック(株)</p>	各1回	<p>参加者数</p> <p>7/27 11組(25名) 8/3 12組(24名)</p> <p>定員充足率</p> <p>110% 120%</p>
4. 概要と成果		
<p>全国女性会館協議会・日本テトラパック(株)の助成金を受け無料で実施した。参加費が無料ということもあり各10組の定員に対し、47組の申し込みがあった。</p> <p>講座の目的を父親と子どもの家事自立としていることから、メニューについては、「簡単に作れて美味しい」「手に入れやすい材料」「低コスト」「具とサイドメニューは、おかずとして成り立つこと」を意識した。親子、父親同士が交流し、他の参加者とふだんの家事参加の度合いについて語られるなど、子育て・家事への参加の気持ちを新たにする機会となった。受講者の満足度も高く、充実した時間を過ごされていた。また、後日、講座参加後の家事参加の変化について聞き取りを行ったところ、「家事に参加する時間や、子どもと触れ合う時間が増えた」との声が多数聞けた。</p> <p>今年度の実績が評価され、次年度も全国女性会館協議会・日本テトラパック(株)の助成を受けることが決定した。</p>		

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3項		
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業	担当者	事業企画課 久保		
講座名	みんなで考える男女共同参画				
目的	男女共同参画についての基礎知識を学ぶ機会として、一般向け、企業向け、学校教職員向け、PTA等の団体を対象に、男女共同参画に関する基礎用語や事象の解説などを行う講座を実施するとともに、男女共同参画の課題解決に向けたカリキュラム作りを進める。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	310	121	189		

1. 事業計画
<p>【定期開催】 一般市民向け基礎講座(月1回、月ごとにテーマを設定し、ウイングス京都にて実施)</p> <p>【出前講座】 企業・教職員・団体向け基礎講座(希望に応じてテーマ・会場を選定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画基礎講座 ・男女平等教育推進について ・子育て世代の男女共同参画 ・DV・デートDV ・セクシュアルハラスメント ・働くあなたのワーク・ライフ・バランス
2. 課題
ワークショップ等を盛りこんだ内容の充実
3. 実績
<p>今年度は年間50回の講座を実施。929人の参加があり、前年度(年間40回実施 1177人)、前々年度(年間42回実施 772人)から着実に実施回数が増加している。その他、出前とは別に、18件の学習相談に応じた。</p> <p><別紙3>参照</p>
4. 概要と成果
<p>テーマごとに男女共同参画に関する基本法や条例、社会の動きや問題点などを提示し、男女共同参画社会の実現に向けた学びの場を提供した。また、企業や団体、学校の教職員を対象にした出前講座を行った。今年度は、男性が多数派を占める事業所からの依頼が多く、男性が自分のこととして男女共同参画を理解できるよう内容を工夫した。また、企業からの女子活用に向けた学習相談が増え、中には隔年ごとに継続して依頼をいただく企業もあり、地域の企業との連携の必要性を感じた。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3項		
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業	担当者	事業企画課 久保		
講座名	新島八重に学ぶ男女共同参画推進事業				
目的	新島八重の生き方を学ぶことで、自分らしくいきいきと生きることの素晴らしさを学ぶ。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	1,000	948	52		

1. 事業計画
男女共同参画の視点で、新島八重の生き方を学ぶ。(シンポジウム1回+連続3回講座) シンポジウムでは京都で活躍する方々を招き、パネルディスカッションを行う。 同時に同志社大学・同志社女子大学・京都商工会議所の協力によりパネル展を実施する予定。
2. 課題
他の新島八重企画との差別化
3. 実績
<p>◆新島八重に学ぶ男女共同参画大学シンポジウム 日 時:6月16日(日)14:00~15:30 場 所:ウイングス京都 イベントホール 定員:240名 参加者数:251名(申込数:291名) 学長 市田 ひろみ(服飾評論家) パネリスト 西脇 悦子(京都市地域女性連合会会長) 筒井 紘一(裏千家茶道資料館副館長) 廣瀬千紗子(同志社女子大学表象文化学部教授) コーディネーター 西岡 正子(京都市男女共同参画センター館長)</p> <p>◆連続講座「新島八重のハンサムウーマン学」 コーディネーター 佐伯 順子(同志社大学社会学部教授) ①6月29日(土)14:00~15:30 ニッポンのハンサムウーマン・新島八重 ②7月 6日(土)14:00~15:30 八重と茶の湯~花開いた女性茶人の世界~ <ゲスト> 筒井 紘一(裏千家茶道資料館副館長) ③7月21日(日)14:00~15:30 八重の結婚 ~夫“襄”とのくらしとパートナーシップ~ <ゲスト> 八木 透(佛教大学歴史学部教授) 定 員:50名 参加者数:①81名 ②76名 ③65名</p> <p>◆「新島八重パネル展」6月16日(日)~7月30日(火)</p>
4. 概要と成果
大河ドラマの主人公として「新島八重」に注目があつまる中での開催で、定員を大きく上回る申込みをいただいた。新島八重を通して、幕末から明治にかけての社会の変革期を生きた女性の実像を男女共同参画の視点で紐解き、シンポジウム、連続講座、パネル展とも好評で、参加者の満足度も高かった。「新島八重を通じて、女性の生き方、明治の女性のあり方まで考察の範囲が広がっていくとは、思いがけないこと。」等、現代に通じる問題に思いを巡らせ、新たな視点を得ることの楽しさが伝わる感想がたくさん寄せられた。

公益1					(単位:千円)
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3項		
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業	担当者	事業企画課 市原		
講座名	親子で楽しむコンサート				
目的	子育て世代をサポートすることで、地域における身近な男女共同参画を推進する。また、親と子どもたちが芸術に親しむことで、子どもの健全な育ちに貢献する。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	455	390	65		

1. 事業計画	
京都市立芸術大学と連携し、親子で楽しめる文化芸術体験事業を開催する。	
2. 課題	
男女共同参画の視点を盛り込み、他の親子コンサートとの差別化を図る。	
3. 実績	申込者数/定員
日時:3/1(土) 14:00~16:00 全1回 講師:京都市立芸術大学音楽部学部生 内容:第1部 弦楽五重奏 アイネ・クライネ・ナハトムジーク、ジブリメドレー、ハンガリー舞曲より第1番、第5番、イタリアーナ、ルロイ・アンダーソン名曲集 第2部 声楽アンサンブル 「愛する歌」より ひばり / ロマンチストの豚 / さびしいカシの木 / 犬が自分のしっぽをみて歌う歌 歌劇「ジャンニ・スキッキ」より 私のお父さん / フィレンツェは花咲く木のよう に 歌劇「愛の妙薬」より 美しいパリが / つまり、その素晴らしい妙薬を…… みんなで踊ろう アンパンマンたいそう (関連事業) 個性豊かに成長する絵本 パネル展示及びブックリスト配布	240/240
	参加人数(のべ)
	229
	定員充足率
	95%
4. 概要と成果	
<p>乳幼児などのお子さんとその親がともに楽しむことができるクラシックコンサートを実施した。京都市立芸術大学との連携を強化し、広報協力のために芸術学部でポスターデザインコンペを開催して頂き、学生の感性を活かしたポスターを使用したことで、オリジナリティ溢れる広報を行えた。コンサートの第1部では、ジブリメドレーなどのポピュラーな曲をヴァイオリンやチェロなど本格的な管楽器が奏でる音色に大人も子どもも魅了されていた。第2部の声楽ではテノールとバリトンを中心に喜劇的な曲(犬が自分のしっぽを見て歌う歌)で楽しみ、本格的な歌劇(プッチーニ)に引き込まれるという構成だった。大人でも難解なイタリア語の歌詞もジェスチャーが豊富でだったこともあり、子どもと親から笑い声が出て、第1部にはない盛り上がりがあった。最後に、弦楽器と声楽のメンバーが登場し、アンパンマン体操を参加者と一緒に踊った。</p> <p>ロビーでは、性別にとらわれず自分らしさを大切にしたい子育てを支援するために、ジェンダーの視点で選ばれた絵本のパネル展示を行い、参加者へ絵本リストの配布を行った。</p> <p>アンケートでは、子どもと楽しめる本格的なコンサートに感動した、個性を伸ばした子育てをしていきたい、という声があった。</p>	

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3項		
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業	担当者	事業企画課 山本		
講座名	輝け女の子！母と娘の理科教室				
目的	① 女子小学生に対し理科・科学に興味を持つきっかけづくりを行う。 ② 子どもの興味関心や進路選択に影響を与える保護者 (ここでは特に母親)の理科・科学への関心を促すとともに、内包するジェンダーの問題への気づきを促す。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	480	581	△ 101		

1. 事業計画	
全4回または5回程度(月1回 土曜実施予定) 母親と小学生女子を対象とした理科教室を実施する。 「ものづくり」をテーマに、理科への興味関心を促す。	
2. 課題	
ジェンダーの視点をふまえた母親へのアプローチ 協働団体とのジェンダー視点の共有とプログラムへの反映	
3. 実績	
【日時】 6/15土・7/20土・8/11日・9/21土・10/19土 13:30～15:30 全5回 【内容】 ①台所でがんばっている不思議なしくみを知ろう！ ～お母さんも知らない磁石とコイルの関係～ ②見えない「光」をつかまえてみよう！ ～かわいいアクセサリで紫外線チェック～ ③真夏のサイエンスまつり ※この回は、一般参加あり ～学んだコトを披露しよう！ みんなが主役の科学まつり～ ④9/21(土)【講演】 ※この回は、大人のための公開講座 女の子が、理系に進むということ ⑤かわいい「アニメーション」を手作りしよう！ ～『すき間』から見てわかる！ アニメの動く原理～ 協力:NPO法人サイエンスEネット	46組/30組 参加者数 30組(63名) 定員充足率 100%
4. 概要と成果	
母と娘の理科教室(3回)と大人向けの講義(1回)、また理科イベント(1回)を組み合わせた講座を実施した。30組の枠に46組の応募があり、小学3～4年生を中心に30組63名が参加した。 「ものづくりを楽しむ」をテーマに、昨年に引き続きNPO法人サイエンスEネットと協働で実施した。今年度も実験のアシスタント(TA)をできるだけ女性でそろえるなど、ロールモデルの提示を含めた運営を行うとともに、講師やTAに対して、毎回講座の目的を説明し、スタッフ側もジェンダーを常に意識できるよう努めた。 受講者が講師を務めたサイエンスまつりでは、「(子どもが)教える体験をすることで深く学ぶ」ことを評価する親が多く、また200名近い一般参加者があるなど、学習の幅が広がった。一方で、イベントの準備のために前2回の講座では時間が削られ、各回のテーマの学習内容が薄くなった感がある。バランスを取ることが難しいと感じた。	

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3項		
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業	担当者	事業企画課 山本		
講座名	教職員対象DV予防講座				
目的	教職員を対象にDVやデートDVに関する講座を実施し、DV被害を受けている子どもたちの支援につなげる。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	300	159	141		

1. 事業計画	
幼稚園教諭・保育士・小学校から高校教職員を対象別にDV、デートDV、子どもの虐待について学べるプログラムを予定。	
2. 課題	
教職員が参加しやすい講座の時期設定	
3. 実績	(1)夏講座参加者
【日時】(1)平成25年 8月2日(金)・3日(土) 各10:30~16:00 (2)平成25年11月2日(土)・3日(日) 各10:30~16:00	のべ118名
【内容】 1日目 ①DVとは(概論) ②「図書室見学またはビデオ上映 ③子どもの虐待とDV	(2)秋講座参加者
2日目 ④DVとは(関係機関情報) ⑤図書室見学またはビデオ上映 ⑥デートDVについて	のべ52名
	定員
	各30名
4. 概要と成果	
<p>DV被害に遭っている子どもたちの支援につなげるため、教職員を中心に、子どもに関わる仕事をしている人を対象とした幅広い形でのDV予防啓発講座を実施した。参加者は保育士、幼稚園教諭、児童館職員、小中高等学校教員、子ども支援センター職員など、様々な子どもに関わる職業の方が集まった。参加者数にはばらつきがあり、また一番多くの参加があった講義でも定員の6割程度であった。当初からの課題ではあるが、職場の研修として設定し、多くが参加しやすい状況を整えることが望ましい。</p> <p>個々の講義については、様々な角度からDVについて学ぶ内容になっており、どの講義も高評価であった。概論から少しずつ内容が深まっていく流れをすべて受講した人は少なかったが、それぞれに聞きたいと思っていた内容をきちんと受け取ったようである。</p> <p>子どもと長時間接する職にある者が、子どもの状態に気づき、状況に応じて関連機関を紹介するなど適切な対応をとることは、被害者支援に有効であり、今後もその必要性について伝え、研修の機会を設けられるよう努めたい。</p>	

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3項		
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業	担当者	事業企画課		
講座名	男女共同参画参画社会は男性を救うのか？				
目的	第3次男女共同参画基本計画における「男性にとっての男女共同参画」とは何かを学び、男女共同参画関連施設が果たせる役割を考える。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	157	166	△ 9		

1. 事業計画
<p>全国女性会館協議会助成事業 地域研修事業(連続2日間)</p> <p>1日目:基調講演+パネルディスカッション 内閣府の「男性の男女共同参画に関する意識調査」や「男性相談体制マニュアル」に携わった方々を招き、「男性にとっての男女共同参画」とは何かについて考える。</p> <p>2日目:分科会 男性相談を実施する過程で課題となるテーマについて分科会にて話し合う。</p>
2. 課題
全国の男女共同参画関連施設の職員にとって指針となる事業内容の組立
3. 実績
<p>10月24日(木)【基調講演】参加者 77名(充足率96%) 「男女共同参画社会は男性を救うのか？」 講師/伊藤公雄さん(京都大学大学院文学研究科教授)</p> <p>【パネルディスカッション】 進行/伊藤公雄さん パネラー/井上摩耶子さん(ウィメンズカウンセリング京都代表・フェミニストカウンセラー) 吉岡俊介さん(オフィスよしおか・産業カウンセラー)</p> <p>10月25日(金)【事例発表&ディスカッション】参加者 18名(充足率60%) 男性対象講座の成功事例</p> <p>①「男の生き方塾」 発表者/坂田静香さん(エセナおおた理事長・全国女性会館協議会常任理事)</p> <p>②「男はつらいよ 働き盛り* 男の人生設計」 発表者/服部亜龍さん(フレンテみえ職員)</p>
4. 概要と成果
<p>「男性にとっての男女共同参画」について、男性が「語る」ということをテーマに参加者と一緒に考えた。</p> <p>パネルディスカッションでは、相談者が抱える「生きにくさ」において、男性中心社会の中での男性の生きにくさと、女性の生きにくさの違いについても意見が交わされるなど、相談業務ひとつを例にとっても、「男性にとっての男女共同参画」を推進していくためには、立場の違う方々を交えて語り合う場が必要であると再確認できたシンポジウムであった。今回地域研修という形で男女共同参画推進に携わる方々と一緒に学ぶ機会を得られたが、今後は担当者同士のネットワークも構築し、さまざまな問題について発信し一緒に考える場を提供していきたい。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3項		
事業名	教養・健康増進事業	担当者	事業企画課		
講座名	運動実技講座・うた講座・その他教養講座				
目的	生涯にわたる健康と生きがいを維持できるよう市民ニーズに応えたさまざまなプログラムで、幅広い年代を対象とした講座を開催する。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	12,520	8,207	4,313		

1. 事業計画
<p>フィットネス講座(10コース×3期=30コース) うた講座(4コース×3期=12コース) 歌声喫茶(年12回・拡大版の実施を含む) 朗読講座(全6回×2クラス×3期) 笑いヨガ体験(体験講座×2回)</p>
2. 課題
<p>価格的に民間と競合する中、顧客ニーズに沿った満足度の高い講座を実施すること。</p>
3. 実績
<p><別紙4>参照</p>
4. 概要と成果
<p>【フィットネス講座】目的別に設定した5種類の運動講座を、それぞれ特色がある講座内容で実施することにより、さまざまな市民のニーズに応える事ができた。1年を通して継続率が高く、受講生からも定期的な運動をすることで体も心も健康になり、ワークライフバランスが充実しているという声を聞くことができた。</p> <p>【うた講座】講座によって定員充足率のばらつきがあるため、次年度に向け低迷している講座のスクラップ、内容見直し等を検討している。</p> <p>【歌声喫茶】毎回、定員充足率を大幅に超える人気の催しであり、ニーズの高さを確信する。定期的な実施により、生涯にわたる健康と生きがいを維持できる機会を提供できている。</p> <p>【朗読講座】参加者のニーズ(ステップアップ方式)と講座の対象者(初心者)がうまく合わず、参加者が減少してきているため、次年度は新たに仕切り直した朗読講座を実施する。</p> <p>【笑いヨガ体験】 次年度における継続事業としての定着を検討するための試験講座として実施。参加者アンケートのプログラムおよび講師に対する満足度はいずれも100%、平成26年秋より継続事業になることが決定した。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3項		
事業名	保育事業	担当者	事業企画課 岡本・水野		
講座名	事業参加者の保育・施設利用者の保育・親子のふれあい広場				
目的	講座保育・一時保育と親子同士がふれあう事業をNPOとの協働で行い、子育て中でも安心して学習や研修に参加、あるいは相談室利用ができる環境を提供する。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	1,800	1,344	456		

1. 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・事業参加者の保育／施設利用者の保育 6か月以上就学前までの保育を、保育グループマザーグースに委託して行う。 ・親子のふれあい広場 親子で参加するふれあい広場を、マザーグースに委託して行う。また、他の子育てに関連するグループとも連携していく。
2. 課題
<p>保育利用者(保育料収入)の減少 男女共同参画の視点に敏感な保育スタッフの育成</p>
3. 実績
<別紙5>参照
4. 概要と成果
<p>【事業参加者の保育】 京都市からの受託事業及び自主事業受講者に対し保育(対象年齢:6ヶ月以上就学前)を実施した。</p> <p>【施設利用者の保育】 貸会場・図書情報室・相談室など京都市男女共同参画センター利用者に対し、保育(対象年齢:6ヶ月以上就学前)を実施した。</p> <p>【親子のふれあい広場】 周囲に子育ての仲間や相談する親がいないために孤立した子育てをしがちな母親を対象に、仲間との出会いの場や保育担当者との交流の場ともなる「ふれあい広場」を実施した。</p> <p>月1回の保育担当者とグループメンバーとのミーティングでは、新規メンバーを募り、体制を立て直すため方法や研修について協議し、ジェンダーの視点に敏感なメンバーの育成をサポートを継続した。</p>

公益2					(単位:千円)
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4項		
事業名	相談業務	担当者	事業企画課 寺田		
講座名	一般相談・専門相談				
目的	男女共同参画に関わる市民の多様な相談ニーズに対応し、相談者自身が悩みの背景を認識し、自己を肯定して問題解決を図っていけるようサポートする。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	10,365	10,705	△ 340		

1. 事業計画																								
<ul style="list-style-type: none"> ・一般相談(女性のみ)／電話・面接 ・専門相談(女性への暴力相談・法律相談・男性のための相談) ・男性のためのDV電話相談 																								
2. 課題																								
<p>面接・電話相談の体制強化 ジェンダーの視点に敏感な相談員の育成 DVに悩む男性のための電話相談(新規)の告知</p>																								
3. 実績																								
<p>①一般相談(電話・面接) ②専門相談(女性への暴力相談・法律相談・男性のための相談・男性のためのDV電話相談) ③相談室利用者アンケート <別紙6>参照</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度(件数)</th> <th>24年度(件数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般電話</td> <td>578</td> <td>733</td> </tr> <tr> <td>一般面接</td> <td>1,305</td> <td>884</td> </tr> <tr> <td>男性のためのDV電話相談</td> <td>26</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>法律相談</td> <td>59</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>男性のための相談</td> <td>111</td> <td>121</td> </tr> <tr> <td>女性への暴力相談</td> <td>225</td> <td>206</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,304</td> <td>2,010</td> </tr> </tbody> </table>		25年度(件数)	24年度(件数)	一般電話	578	733	一般面接	1,305	884	男性のためのDV電話相談	26	—	法律相談	59	66	男性のための相談	111	121	女性への暴力相談	225	206	合計	2,304	2,010
	25年度(件数)	24年度(件数)																						
一般電話	578	733																						
一般面接	1,305	884																						
男性のためのDV電話相談	26	—																						
法律相談	59	66																						
男性のための相談	111	121																						
女性への暴力相談	225	206																						
合計	2,304	2,010																						
4. 概要と成果																								
<p>25年度は、前年度下半期の欠員を埋める形で臨床心理士1名を新たに採用し相談員5名体制とし、相談員の支援と相談以外の業務をプロパー1名が担当した。25年度の総相談件数は電話相談、面接相談をあわせて2,304件であった。相談室として、相談者の抱える問題にじっくり取り組み、問題解決のサポートを行うことに重点を置くようにしているため、面接相談が増加している(一般相談の69.3%、専門相談も含めると、全相談の73.8%が面接相談となっている)。また、25年度からは、京都市から委託を受け、DVに悩む男性を対象に、「男性のためのDV電話相談」を開始した。電話相談というスタイルをとったのは、一つには「相談する」こと自体ハードルの高い男性にも電話は利用しやすい手段であること、また、女性のDV被害者にとって、男性DV加害者が同じ施設を利用していることは不安が大きいものであるため、このような相談者にとって『ウイングス京都相談室』が安全・安心な場所であることを確保するためである。男性のためのDV電話相談は26件、全体の1.1%であった。</p>																								

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4項		
事業名	相談事業	担当者	事業企画課 寺田		
講座名	DV被害当事者のための自立支援事業				
目的	DV被害当事者が、人が本来持つべき自尊感情をとりもどし、自分を大切に思うことなどを専門家の助言を得ながら、当事者同士で語り合い、互いに受容しあうことを通して、心身の回復を促す。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	230	290	△ 60		

1. 事業計画
年2回実施。(4回の講義と1回のボディーワークを取り入れ、全5回の講座とする)アフター会につなぎ、最終的に自主グループ化を目指す。
2. 課題
複数回実施するための助成金確保 講師・スタッフ・参加者間での信頼関係の構築
3. 実績 および 4. 概要と成果
<p>1. DV被害者自立支援講座『私が私であるために』 全5回 参加者8名／のべ40名 【講師】周藤 由美子(ウィメンズカウンセリング京都)／栗岡 多恵子(Brisa) 【日時】6/27～7/25(木・朝)／4回目のみ土・昼 【テーマ】①あなたは一人じゃない～DVを経験した私たち ②自分を責めないで～DV夫はどんな人？ ③あなたには力がある～どうやって生きのびたのか？ ④ボディーワーク からだの声を聴こう ⑤自分や仲間へのメッセージ～自分を大切に、人とつながる</p> <p>※4回の講義と語り合い、1回のボディーワークを取り入れ、DVについての理解や自分の心や体に向き合う作業を通じ、DV被害者である参加者が、同様の悩みを持つ者は自分一人ではないことに気づき、自尊感情を取り戻していった。終了後はアフター会の実施につながった。</p> <p>2. DV被害者自立支援講座『私が私であるために 同窓会』 全5回 参加者12名／のべ60名 【講師】周藤 由美子・竹之下 雅代(ウィメンズカウンセリング京都)／栗岡 多恵子(Brisa) 【日時】2/7～3/7(勤・朝)／3回目のみ土・昼 【テーマ】①あらためて、はじめまして ～新しい出会いを。体験を語り合おう ②DV被害の心理的ダメージとその回復について ～私のいま、トラウマとのつきあい ③ボディーワーク からだの声を聴こう ④自己主張してみよう ～近所づき合い、生活の中でのアサーション ⑤自己主張してみよう～こんな時はどうしてる？そして、これからのこと</p> <p>※今まで『私が私であるために』から生まれた自助グループや講座を受講した人を対象に、同窓会と題してDV被害者自立支援講座のステップアップ版を実施した。アサーティブトレーニングも取り入れ、参加者が従来の自助グループの枠を超えた横のネットワークを築き、本講座終了後も、共同作業を目的とした活動を行うためのアフター会の実施につながった。</p>

公益2	(単位:千円)			
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4項	
事業名	相談事業	担当者	事業企画課 寺田	
講座名	グループ相談会			
目的	参加者同士が同じ悩みを共有し、専門家のアドバイスやグループで話し合うことでエンパワーメント(個人が自分自身の力で問題や課題を解決していくこと)することを目的とする。			
	予算額	執行額	比較増減	会計 公益目的事業
事業費	240	88	152	

1. 事業計画
相談事業から見てくるニーズを元にテーマを設定し、年1回実施する。
2. 課題
ニーズにあったテーマ設定 テーマに沿った対象者に届く効果的な広報
3. 実績
グループ相談会『女の選択・不妊治療』 全3回 参加者6名／のべ18名 【講師】金 共子(産婦人科医) 【日時】3/3～3/17(月・昼) 【テーマ】①不妊治療についての私の思い ②子を持ってないこと、持つこと、持たないこと ③じぶんで引き受ける
4. 概要と成果
談室の事例の中でも、不妊治療にまつわる問題は件数こそ少ないが非常に悩みが深く、ジェンダーに根差す社会通念が背景にあることから、グループ相談会のテーマとして取り上げた。対象者の状況は非常に多様であり、一定のカテゴリをしないと同一立場の者同士が語り合うことが難しいため、今回は、まだ子どもいない方(治療検討中を含む)を受講対象とした。募集は申込みの動きが遅く、当初かなり苦戦したが、参加を決めた方は全員初回から欠けることなく参加され、その後の欠席率も低かった。受講自体をずっと悩み、強く決心して参加された方々であり、世の中には受講という行動に移せず声に出せず悩んでいる人が少なからずいるであろうと想像される。講師には現職の産婦人科医を迎え、3回という限られた講座の中で、参加者が自己決定権という視点を得て自身の力で選択していけるようになることを目標に実施した。それぞれが問題に臨む視点を、今後このような場の実施を望まれるなど、満足度の高い講座となった。

公益2	(単位:千円)			
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4項	
事業名	関連機関連携/苦情・要望等処理制度の受付	担当者	事業企画課 寺田	
講座名	関連機関連携/苦情・要望等処理制度の受付			
目的	DVをはじめとする相談に関わる機関の相談員が研修、事例研究、情報交換等を行う事により、相談員の資質の向上と各機関の連携を図ることを目的とする。 京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付を行う。			
	予算額	執行額	比較増減	会計 公益目的事業
事業費	270	44	226	

1. 事業計画			
女性のための相談ネットワーク会議(年2回) 配偶者からの暴力に関するネットワーク京都会議 京都犯罪被害者支援連絡協議会 性犯罪被害者対策研究分科会			
2. 課題			
各機関同士の連携強化			
3. 実績 および 概要と成果			
ア 女性のための相談ネットワーク会議			
実施日	テーマ	参加機関/人数	
7月5日	講演「性暴力被害者への対応について」岩井圭司(兵庫県教育大学大学院 学校教育研究科人間発達教育専攻教授・精神科医師・臨床心理士)	18機関/26名	
2月25日	(1)説明「男女共同参画の視点での防災(プラットフォームについて)」男女共同参画の視点での防災プラットフォーム事務局 (2)「東日本大震災女性のための相談・福島の実情」「ボランティア相談に必要な心構えや基礎知識」井上摩耶子(ウィメンズカウンセリング京都代表)	19機関/34名	
イ 配偶者からの暴力に関するネットワーク京都会議実務者会議			
9月3日	相談部会 ①相談機関における連携に関する情報 ②参加機関による自己紹介・取組状況の報告 ③平成24年の相談状況報告 ④ 架空事例から考える関係機関の役割 ⑤京都府「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護・自立に関する計画(改定版)」の改定について⑥その他	21機関/22名	
9月3日	啓発部会 ① 啓発部会での取組について ②その他	13機関/16名	
ウ 京都府犯罪被害者支援連絡協議会 性犯罪被害者対策研究分科会			
2月7日	事務局の取組状況/関係機関等紹介/事例紹介「被害者支援における他機関連携について」/発表「警察におけるワンストップ支援センターの設置に向けた取り組みについて」/質疑応答	21機関/25名 警察側8名	
エ 京都市男女共同参画苦情・要望処理制度の受付			
	苦情項目	相談(ウイングス京都相談室の対応で終了したもの)	申出(問合せ・相談後申出書が提出されたもの)
	性別による人権侵害と認められる行為に対する苦情	0	0
	男女共同参画に関する施策の苦情	0	0
	男女共同参画に影響を与える施策に関する苦情	0	0
	問い合わせ	2	0
	その他	2	0
	計	4	0

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5項		
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業	担当者	事業企画課 久保		
講座名	ウイングスフォーラム				
目的	男女共同参画社会の形成に向けて、市民の意識向上を図り、学習を行う。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	800	649	151		

1. 事業計画	
12月(全1回)イベントホールにて実施	
2. 課題	
男女共同参画の視点をもった演者やパネラーの選定	
3. 実績	申込者数/定員
ウイングスフォーラム2013 「きょうをテンキ(転機)にはじめよう~真のワーク・ライフ・バランス~」 【日時】12/6(土)13:30~16:00 ◆「真のワーク・ライフ・バランス」推進企業表彰式・実践エピソード表彰式 ◆講演「パパはお天気キャスター~男性も女性も、子育て、家事、できることからはじめよう~」 講演者:正木 明 氏(気象予報士)	160/230
	参加者数
	218
	定員充足率
	94.8%
4. 概要と成果	
男女が共に個性と能力を発揮し、いきいきと活躍できる社会の実現を目指し討議、学習、相互交流を行う場として実施した。	

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5項		
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業	担当者	事業企画課 久保		
講座名	シニア映画祭				
目的	国内・外の女性監督による女性の視点で描いた映画を通して、社会や家族の中で女性が直面する様々な状況や問題を明らかにし、それらについて参加者とともに考える場を提供する。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	160	237	△ 77		

1. 事業計画
全1回・終日 複数会場にて映画・ドキュメンタリー作品の上映を実施 監督を招いてのトークやワークショップを検討
2. 課題
団体との役割分担を含めたお互いにとって効果的な協働のあり方
3. 実績
11月22日 金曜日 19:00~20:30 映画「シックスティアンドザシティ」上映&カフェ 11月23日 土曜日 13:30~16:30 映画「潮風の村から」上映&山上千恵子監督トーク 【参加者数】78名 【協働】シスターウェイブス「波をつくる女たち」
4. 概要と成果
男女共同参画を取り巻く様々な諸問題を多面的に捉えるため、多くの参加者が交流できる市民の自主的イベントとして実施した。 映像作品を通して、社会や家族の中でシニア女性が直面する様々な状況や問題を明らかにし、これまでのシニア女性に対する価値観を問い直して、女性が生涯、誇りを持って生きられる真の男女共同参画社会の実現への一助としての場づくりとした。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進		条項	第5項	
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業		担当者	事業企画課 岡本 総務課 山本	
講座名	センター利用者や地域との協働事業				
目的	地域団体等と連携し、地元との関わりを深める。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	80	20	60		

1. 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて暮らせる街づくり推進会議と連携し、まちなかを歩く日(例年11月中旬の土日)にあわせて実施する。 ・センター利用者によるロビーでの常設展示
2. 課題
団体との継続的な連携
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか協議会との連携事業(担当:岡本) 【日時】11月17日(日)13:30~16:30 【内容】「森の中の淑女たち」上映会&トーク 【トーク】岸野令子(映画パブリシスト) 参加者31名 【連携】歩いて暮らせる街づくり推進会議 ・ロビー展示(担当:山本) 展示団体数 4団体
4. 概要と成果
<p>地域の暮らしと魅力を発信する取組として平成12年度から毎年開催されている「まちなかを歩く日」にあわせ、「上映会&トーク」を実施した。映画「森の中の淑女たち」は、森の奥深くで故障したバスに乗り合わせた7人の老婦人と黒人女性運転手が、知からを合わせてサバイブする様子を描いたもの。「見知らぬもの同士でも仲間になれる」、「人とひとはつながることができる」ことが感じられる作品で、まちづくり、地域の活性化・交流促進に通じる。上映後に作品解説と感想をシェアすることにより、参加者同士の交流も実現した。</p> <p>文化サークルや教室等のセンター利用者の作品を展示するスペースを1階ロビーに設置し、活動報告・交流の場として提供した。 ロビーのにぎわいを演出するとともに、センター利用者の活動の紹介の場となった。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5項		
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業	担当者	事業企画課 久保		
講座名	ピンクリボン活動啓発事業				
目的	性と生殖に関する知識を深め、心と体の健康保持の大切さに気付くため、ピンクリボン月間である10月に、乳がん検診の大切さを訴える啓発事業を行う。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	90	8	82		

1. 事業計画
<p>クリブキルト(団体)との協働で梅田阪急百貨店での啓発イベントを実施する(6月) ピンクリボン京都実行委員会と連携し、啓発リーフレット配布、京都市内各所での啓発キャンペーンを実施する(8~10月)</p>
2. 課題
<p>女性の性と生殖の権利に敏感な視点を盛り込む</p>
3. 実績
<p>●ピンクリボントークショー 日時:6月5日(水)・6日(木) 13:00~14:00 会場:阪急百貨店梅田本店 9階 うめだホール (聞き手 クリブキルト代表 若山 雅子/司会・進行 ウィングス京都職員) 6/5 トーク 京都府立医科大学内分分泌乳腺外科教授 田口 哲也 6/6 トーク ピンクリボン京都実行委員会事務局長 江口 ひろみ 協働:有限会社クリブキルト/ピンクリボン京都実行委員会 ●Think! Pink Ribbon ウィングス京都ピンクリボン月間2013 期間:10月1日(火)~10月31日(木) 内容:早期検診・早期発見の重要性を伝える啓発リーフレット配布 Webでの情報提供、ピンクリボン・ツリー設置、メッセージキルト展示、ロビーディスプレイ ●ピンクリボンストラップを作ろう 日時:10月20日(日)11:00~, 13:30~</p>
4. 概要と成果
<p>ひとりでも多くの方に、乳がん検診の大切さを知っていただくため、医療機関、行政、企業、NPOなど、多数の地域市民・団体等が参加したピンクリボン京都実行委員会と連携し、市内でのキャンペーンや、ウィングス京都館内での啓発活動を実施した。 また、今年度は、阪急百貨店梅田本店を会場に、かねてよりピンクリボン活動にご協力いただいているキルト作家若山雅子さんの作品展において、ピンクリボントークショーとピンクリボン啓発ブースを出展し、あわせてウィングス京都のPRを行うなど、啓発活動に新たな広がりがあった。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5項		
事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業	担当者	事業企画課 市原		
講座名	DV被害者支援講座				
目的	DVを身近に起こる社会問題(ジェンダーの問題)として理解し、地域において被害者の理解と市民レベルでの草の根的なサポート体制を図る				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	260	281	△ 21		

1. 事業計画	
<p>これまでのDV被害者支援事業の参加者や、地域でDV被害者支援の活動を行っている人々を対象に、さらに実践的な支援活動ができる人材を育成する。支援者として必要な情報、知識・スキルを得るとともに、問題意識を風化させずに共有できる仲間とのつながりを形成する。</p>	
2. 課題	
今後活動の場となる機関との連携	
3. 実績	申込者数/定員
【日時・内容】 ①11/24(日)「DV知識を深める～被害母子の避難とその後～」 ②12/8(日)「被害者支援を学ぶ～グループワーク～」 ③12/15(日)「支援者のメンタルケア～ワーク・ロールプレイ～」 ④1/12(日)「支援スキルの向上～ロールプレイ～」 ⑤1/19(日)「これからの活動について当事者支援の現場から学ぶ」 ※全日とも10時から3時に開催 【講師】 ①⑤竹之下雅代 (ウィメンズカウンセリング京都) ②西順子(女性ライフサイクル研究所) ③窪田容子(女性ライフサイクル研究所) ④森崎和代(女性ライフサイクル研究所)	90/50 参加人数(のべ) 53 定員充足率 106%
4. 概要と成果	
<p>DVに関する基礎知識をお持ちの方を対象に、ウイングス京都を拠点としてDV被害者支援を継続できる支援者の養成を目的とし実施した。定員(10名)を超える応募があったものの、現在も相談室を利用されている方などが含まれており、受講いただけない方も多く、結果として行政機関で働かれている方や既にDV被害者支援の活動をされている方が受講者となった。</p> <p>講座では知識習得に留まらず、支援者に寄り添う気持ちを体現できるスキルの習得に重点をおきプログラムを組み立てた。連続講座を通して、DV被害者支援に取り組む気持ちや支援者としての苦労を講師を含め全員で共有することができた。受講者の知識レベルは高く、支援活動への熱意も感じられたが、実践的なワークやロールプレイでは難航する場面がたくさん見受けられたことや、セルフケアの講義の満足度が高かったことから、支援を継続するためのネットワークやフォロー体制が必要だと感じた。受講者は既にそれぞれの活動の場を持っているためグループ化には至らなかったが、DV被害者の裁判傍聴を考える機会を持つこととなった。また、受講後に受講者の一人が当協会の相談員に加わったことは、本講座の大きな成果である。</p>	

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5項		
事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業	担当者	事業企画課 山本		
講座名	インストラクター及びサポーター活用事業				
目的	DV被害者とその子どもへの心理教育プログラム「びーらぶ」を実施するインストラクターの能力向上を目指す。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	1,680	750	930		

1. 事業計画					
平成23・24年度に養成したびーらぶインストラクターを対象に、実際にDV被害当事者とその子どもたちに対する講座(びーらぶプログラム)を実施することを前提に、支援者たちの支援を行う。また、これまでのDV被害者支援事業受講者が、DVシンポジウムや啓発へ参加できる仕組みを作る。					
2. 課題					
びーらぶ京都(有資格者グループ)とウイングス京都との連携、グループ支援					
3. 実績					
平成23・24年度に実施した「びーらぶインストラクター養成講座」より生まれた「びーらぶインストラクター」有資格者、および「DV被害者サポーター養成講座」等を受講し、支援者としての基礎的な、また実践的な知識を持つ市民のちからを活用し、幅広いDV被害者支援を行った。					
1. びーらぶインストラクター活用事業					
① びーらぶプログラム(ショート4回)の実施 実施日:12/14(土) インテーク 1/18.2/1.25.3/8 各土 全5回 参加5組					
② びーらぶプログラムの普及活動の実施 右京保育士会の研修におけるびーらぶプログラムの紹介(12月21日)等					
③公開講座の実施 実施日:10/26日(土)14:00~16:30 参加35名 「DV被害者をめぐる、お金と就労の現実(リアル)~使える制度や望ましい支援とは?~」					
④組織力アップ研修の実施					
⑤スキルアップ研修(びーらぶプログラム スーパーバイズ等)の実施					
2. DV被害者サポーター活用事業					
① 講座実施「DV被害者支援サポーターのための『啓発グッズをデザインしよう』講座 実施日:10/8.22.11/5 各火 全3回 (以後もアフター会を実施) 参加6名					
②サポーター登録制度の立ち上げ及びサポーター活用 登録者数:16名(3月末現在)					
③聞き取り調査の実施					
4. 概要と成果					
平成23・24年度に実施した「びーらぶインストラクター養成講座」より生まれた「びーらぶインストラクター」の有資格者、および「DV被害者サポーター養成講座」等を受講し、支援者としての基礎的な、また実践的な知識を持つ市民のちからを活用し、幅広いDV被害者支援を行った。 「びーらぶプログラム」では、昨年度ショート(1回版)から拡大し、ショート(4回版)を実施した。定員8組に対し、5組10名の母子の参加があり、継続した参加の中で学びを深めることができた。 びーらぶインストラクターの活用としては、支援者グループとして自立化をめざすべく、プログラム実施のための研修のみならず、団体の基礎力を上げていくようなフォローアップを今後も続けていきたい。					

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5項		
事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業	担当者	事業企画課 市原		
講座名	DV被害当事者のための居場所づくり事業				
目的	DV被害者が気軽に立ち寄ることができる居場所づくりを行うことにより、孤立しがちな被害者の回復過程における心理的サポートを行う。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	160	82	78		

1. 事業計画	
年3回程度 実施予定 カフェ形式の気軽な話し合いの場を設ける。	
2. 課題	
市民団体との協働(互いのミッションを共有する事柄について、互いの自主性を尊重しつつ、共に課題解決に向かうための指針づくり)	
3. 実績	申込者数/定員
【日時・内容】 事業名「おんなたちのカフェ」 ①9/7(土)「身近なDVについて考える ～モラルハラスメントってなに?」 ②10/5(土)「身近なDVについて考える ～モラハラ夫ってどんな人?」 ③12/1(日)「身近なDVについて考える ～塗り絵をして楽しもう」 【アドバイザー】 ①井上摩耶子 (ウィメンズカウンセリング京都) ②竹之下雅代 (ウィメンズカウンセリング京都)	55/45
	参加人数(のべ)
	47
	定員充足率
	104%
4. 概要と成果	
<p>DV被害当事者が気軽に立ち寄り、体験を語ることができる場の提供を行うことにより、孤立しがちな被害者の回復サポート及び周囲の理解者を増やしていく場の提供を目的としてカフェ形式の居場所づくり事業を実施した。更に、本事業は男女共同参画の交流促進事業であり、当協会が実施した「DV被害者支援ボランティア入門講座」受講者を母体とした団体であるパープル・ウィングとの連携により3年連続で実施している。</p> <p>1回目と2回目はフェミニストカウンセラーをアドバイザーに迎えることにより誰もが安心して発言できる場を提供し、モラルハラスメントについて具体的に話し、語り合った。3回目のカフェでは、参加者が塗り絵を楽しみながら自らのこころをケアすることで、講義形式では体感できない参加型のお楽しみ会とした。どの講座も自由に自分の経験や想いを話し合うことができ、アンケートでも受講満足度が高かった。家庭や夫婦の問題と考えられている中にモラルハラスメントが多数存在し、それらを許容する背景として女性が抑圧されている社会構造に対する問題意識も高まった講座である。</p>	

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5条		
事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業	担当者	事業企画課 市原		
講座名	WEN-DO護身術講習				
目的	女性が暴力から身を守るための方法を学び体得することで、自分の持っている力を実感し、主体的に考え行動する。女性が尊重され、安全に自信を持って生きることができる社会の実現に繋げる。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	125	56	69		

1. 事業計画	
WEN-DOプログラムを用いた護身術講習。護身術のスキルだけでなく、暴力についての理解や自尊感情を大切にすることを学ぶ。全1回 土曜午後 (WEN-DOプログラムとは、カナダで誕生した女性のための自己防衛プログラム。特別な体力・運動能力を必要とせず、攻撃者の力を利用して最小限の力で自分を護る技を習得できる)	
2. 課題	
講義と実技を効果的に組み合わせ、護身術を通して女性が主体的に考え、行動することの大切さを伝える。	
3. 実績	申込者数/定員
【日時】10/26(土)13:00~16:00 全1回 【内容】 ・講習で学び合うこと(女性が持つ様々な力/女性が女性の味方になる/暴力が迫ったときの具体的方法を学ぶ) ・女性が自立しにくい慣習と女性が安心して生活できる社会について ・危機的状況における境界意識 ・護身行動の効果と要素 ・実技の実践~人体の急所を把握する~ ・危機回避に関する統計 ・もしも暴力について相談されたら ・情報の読み解き方を変える ・セルフディフェンスを成功事例から考える	24/20
	参加人数(のべ)
	21
	定員充足率
	105%
4. 概要と成果	
カナダ発祥の護身術“WEN-DO”の理念と技を習得することで、女性に対する暴力被害の現状から防止への啓発へつながることを目的として昨年に引き続き本講座を開催した。護身術が必要な背景からWEN-DOの発想と理念を講義形式で説明された上で、実技の講習に移った。前半は全体的に消極的だった参加者だったが、後半は質問も多く、講師からの提案に積極的に前に出て実技をするなど、全員で学ぶことの楽しさを実感できる講座となった。参加者の体力を気遣い、場の雰囲気大切にしながら丁寧に進行されたことが講師への信頼感と講座の満足度を高めている。受講者アンケートでは、中級編や上級編を開催して欲しいという声や、子どもたちにも広めたいという意見があったので、次年度への計画に反映したい。	

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5項		
事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業	担当者	事業企画課 市原		
講座名	パープルリボンの取り組み 他				
目的	「女性に対する暴力をなくす運動期間(11/12~25)に合わせた11月をパープルリボン月間と定め、ブックフェアの開催(図書情報室)や館内における情報掲示、パープルリボンツリーの設置等、市民への啓発事業を行う。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	560	19	541		

1. 事業計画
<p>パープルリボンの取り組み</p> <p>1Fロビー等を利用して、常設展示及びイベント等を実施する。実施にあたっては、近隣の女性センターや活動団体との協働により運営・開催する。女性への暴力撲滅に関する取組を市民と協働し実施する。</p>
2. 課題
<p>連携する団体との関係の持続</p>
3. 実績
<p>「女性に対する暴力をなくす運動」(11/12~25)期間にあわせ、11月を「パープルリボン月間」として、女性や子どもへの暴力をなくす運動のシンボルであるパープルリボンを軸にしたDV撲滅のための啓発強化期間としている。</p> <p>①パープルリボン月間(常設) 開催期間:11/1(金)~12/8(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パープルリボン・ツリーやメッセージボードの設置 ・メッセージキルト・パープルリボン署名キルトの展示(長岡京市女性交流支援センターとの協働企画) ・リーフレットの配布(ウイングス京都館内及び周辺の店舗) ・DVに関するブックフェアの開催及びブックリストの配布(図書情報室にて) ・DVや子どもの虐待に関する事業等の情報コーナーの設置 ・ウイングス京都相談室の相談事業などについての案内 ・DVや子どもの虐待に関する団体の活動紹介(パネル展示) <p>②パープルフェスタ2013 開催日時:11/9(土)10:30~16:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニライブ ~こころのうた~ ・ミニワークショップ①「パープルシュシュ・バックを作ろう」 ・ミニワークショップ②「指でくるくる・パステルでX'masカード作り ・物品販売、バザー「野菊荘によるパープルリボン・ストラップ、被災地支援アクセサリー」
4. 概要と成果
<p>昨年実施したパープルフェスタと同様に展示及びイベント等でパープルリボンの啓発を行った。パープルリボンをきっかけにDV根絶を願い、一人ひとりの意識が大切であることを実感できるように各女性センターや活動団体と協働し、参加型のイベントを多く実施した。5団体からの協力を得て様々な催しを行ったほか、当協会歌講座受講生と講師、図書スタッフの協力でミニライブを開催し、ロビーは70名以上の人で賑わった。ライブや歌をきっかけに、DV撲滅に向けてひとり一人が現状を知ることが貴重な機会になる。歌講座などの受講者が男女共同参画の取組みに積極的に参加することは、当協会が多角的な取組みを実施している効果である。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5項		
事業名	人材・団体育成事業	担当者	事業企画課 山本		
講座名	市民活動サポート事業				
目的	地域コミュニティの活性化のため、NPO等の市民団体による個性豊かな事業を展開することを目指す。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	345	224	121		

1. 事業計画								
男女共同参画の推進にかかわる諸活動をしているNPOやグループなどの実践的な研究や活動に対して助成し、男女共同参画の実現をめざす多様な取り組みをサポートする。								
2. 課題								
事業の周知 助成内容の検討								
3. 実績								
<p>応募があった7団体のうち、3団体の事業について、助成を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%; border: none;"><団体名></td> <td style="width: 40%; border: none;"><助成金額></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">①NPO法人子供達と最先端科学技術の架け橋 事業名:科学技術と伝統とが映える京の女(ひと)育成プロジェクト …きょうびじん(共備人)になるために、今できること…</td> <td style="border: none; text-align: right;">¥123,000-(上限)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">②びーらぶ京都 事業名:ミニワークショップ「指でクルクル、パステルでXmasカード ～みんなに贈ってDV防止～」</td> <td style="border: none; text-align: right;">¥56,000-(上限)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">③NPO法人きょうとCAP子どもの人権・暴力防止 事業名:CAP親子ワークショップ</td> <td style="border: none; text-align: right;">¥48,000-(上限) ※返金¥8,434-</td> </tr> </table>	<団体名>	<助成金額>	①NPO法人子供達と最先端科学技術の架け橋 事業名:科学技術と伝統とが映える京の女(ひと)育成プロジェクト …きょうびじん(共備人)になるために、今できること…	¥123,000-(上限)	②びーらぶ京都 事業名:ミニワークショップ「指でクルクル、パステルでXmasカード ～みんなに贈ってDV防止～」	¥56,000-(上限)	③NPO法人きょうとCAP子どもの人権・暴力防止 事業名:CAP親子ワークショップ	¥48,000-(上限) ※返金¥8,434-
<団体名>	<助成金額>							
①NPO法人子供達と最先端科学技術の架け橋 事業名:科学技術と伝統とが映える京の女(ひと)育成プロジェクト …きょうびじん(共備人)になるために、今できること…	¥123,000-(上限)							
②びーらぶ京都 事業名:ミニワークショップ「指でクルクル、パステルでXmasカード ～みんなに贈ってDV防止～」	¥56,000-(上限)							
③NPO法人きょうとCAP子どもの人権・暴力防止 事業名:CAP親子ワークショップ	¥48,000-(上限) ※返金¥8,434-							
4. 概要と成果								
<p>各団体とも、助成事業を予定通り実施した。特に①NPO法人子供達と最先端科学技術の架け橋の事業では、ウイングス京都を会場に、事前準備(協力企業との打ち合わせや予行演習等)の段階から有効に活用し、また職員とも協力し合ってすすめることができた。</p> <p>一方で、団体との連絡が充分ではなく、思うような集客が望めない事業もあり、広報計画進め方とフォローアップについて、検討したい。</p>								

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5項		
事業名	人材・団体育成事業	担当者	事業企画課 久保		
講座名	共催・後援事業・講座受講生のグループ育成				
目的	男女共同参画推進に関わる事業等を実施する機関やNPOと協働し、会場提供や広報協力を通じて事業の推進を支援する。 主催事業から発生したグループについて、団体として自律していくための支援を行う。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	160	0	160		

1. 事業計画
男女共同参画社会の実現に向けた企画について共催・後援を行う。
2. 課題
協働団体との連携・自立に向けた組織運営に関するサポート
3. 実績
<別紙7>参照
4. 概要と成果
<p>年間を通して5団体との共催事業6件、2団体2件の後援に対し、企画・広報を含めた支援を行った。互いの立場や特性を認識・尊重しながら、共通する課題や問題の解決に向けた取り組みをすすめ、幅広い市民にアプローチすることができた。</p> <p>グループ育成については、アフター会の実施後グループ化に時間がかかり活動に至っていない。</p>

公益3					(単位:千円)
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5項		
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用団体に対する施設管理業務	担当者	事業企画課 山本・西條		
目的	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	公益目的事業
事業費	31,024	35,581	△ 4,557		

1. 事業計画
<p>(1)男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体を育成、支援するために、目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行う。</p> <p>(2)危機管理・消防訓練・防災計画 災害時の帰宅困難者対応等を検討</p> <p>(3)環境改善(KES環境マネジメント)</p> <p>(4)サービス向上と苦情への対応 インターネット上での施設予約受付実施についての検討 館内インターネット環境の整備</p> <p>(5)利用者アンケートの実施</p> <p>(6)センターの認知度向上 広報の充実 ホームページ・Facebook・Twitterの活用・広報パンフレット作成等</p> <p>(7)施設利用者への展示スペースの設置</p>
2. 課題
<p>新規目的登録団体の開拓 新規広報媒体の積極的な利用</p>
3. 実績 および 4. 概要と成果 次ページへ

3. 実績 および 4. 概要と成果

(1) 男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体を育成、支援するために
目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行う。

<目的利用登録団体数> 平成24年度 102団体 平成25年度 99団体

<目的利用事業数> 平成24年度 8件 平成25年度 5件

新規目的利用登録団体は、新しく2団体を登録したが、解散した団体、利用実績のない団体について登録の取消を行ったため、団体数は減少した。

(2) 危機管理

消防訓練 第1回 6月 新任職員対象
第2回 10月 全館避難訓練
第3回 10月 指揮官対象訓練
共同防火管理者会議 3月 実施

(3) 環境改善(KES環境マネジメント)

① 事務用用紙の削減 達成率86%

② 年間の電力消費量の昨年度使用量の維持 達成率99%

③ 職員の環境に関するチェックリストの実施 達成率100%

事務用用紙の削減、年間の電力消費量の昨年度使用量の維持は、目標値に達しなかった。理事会・評議員会の印刷物を内部で印刷したため、事務用用紙の使用量が目標値を超えた。

職員の環境に関するチェックリストは、目標通り実施したが、チェック結果を今後どのように環境取り組みに生かすかの検討が必要。

(4) サービス向上と苦情への対応

館内インターネット環境の整備wi-fiの設置完了（有効範囲は1Fのみ）

館内インターネット環境の整備wi-fiの設置により、旅行者などには好評を得ているが、有効範囲は1Fのみなので、B1F・2F・4Fの会議室へ範囲を広げるか今後検討する。

(5) 利用者アンケートの実施

市民対応アンケート 【実施期間】 11/1～12/28 回収数 244枚 <別紙8>参照

中京区民ふれあい祭り【日時】10/27 10:00～15:00 回収数 259枚 <別紙9>参照

市民対応アンケートでは、満足と答えた利用者が80%を超えた。しかし、案内表示が分かりにくいことや待ち時間が長いことなどが課題となっている。利用者への声かけもさらに徹底する。

中京区民ふれあい祭りでのアンケートでは、ウイングスの認知度が例年80%程度であったが、25年度は73.4%に落ちた。若い層に知らない人が多かったので、若年層への広報が必要である。

(6) センターの認知度向上

広報の充実

・ホームページ 閲覧数438,978件

・Facebook 平成25年度末 掲載記事数:120件 常時閲覧者(いいね登録)数:278件
記事ごとの閲覧(リーチ数)は800件を超えるものもあり、広報力を実感している。

・Twitter 平成25年7月開始 常時閲覧者(フォロワー)数の目標値:100

平成25年度末 掲載記事(ツイート)数:495件 常時閲覧者(フォロワー)達成数:684

フォロワーによる拡散(リツイート)もあり、定期的な情報の提供にも役立っている。

・広報パンフレット「あなたは__できる」平成25年10月に1万部増刷

(7) 施設利用者への展示スペースの設置

<利用団体数> 平成24年度 のべ13団体 平成25年度 のべ15団体

収益	(単位:千円)				
定款	収益事業				
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用以外への施設管理業務	担当者	事業企画課 山本・久保		
目的	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	収益事業
事業費	52,831	60,583	△ 7,752		

1. 事業計画
<p>(1) 目的利用以外の団体に対し、施設の貸出を行う</p> <p>(2) 危機管理・消防訓練・防災計画 帰宅困難者対応を検討(再掲)</p> <p>(3) 環境改善(KES環境マネジメント)(再掲)</p> <p>(4) サービス向上と苦情への対応(再掲)</p> <p>(5) 利用者アンケートの実施(再掲)</p> <p>(6) センターの認知度向上(再掲)</p> <p>(7) 施設利用者への展示スペースの設置(再掲)</p>
2. 課題
施設が幅広く活用され、活気あるセンターにする。
3. 実績
<p>(1) 施設利用率(日数利用率) 平成25年度 91.5% (参考:平成24年度 89.9%)</p> <p>(2) 貸館使用料 平成25年度 67,344,300円 (参考:平成24年度 63,910,600円)</p>
4. 概要と成果
<p>(1) 施設利用率については、平成24年度に会議室仕様に改修をしたビデオシアターの利用率が上昇し、日数使用率で91.5%となった。</p> <p>また、平成24年度に引き続き、来館者数が50万人を超えた。</p>

法人	(単位:千円)				
定款	財団運営	条項	第4条 第7項		
事業名	経営管理、組織・人事管理	担当者	総務課 西條・相馬		
目的	評議員会、理事会の決定に基づいた運営を行い、柔軟な組織体制と安定した経営基盤の強化をはかる。				
	予算額	執行額	比較増減	会計	法人会計
事業費	3,970	2,769	1,201		

1. 事業計画
<p>(1) 評議員会・理事会の開催・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 評議員会(理事改選) 年1回 6月 (臨時に開催する場合もある) ② 理事会 年2回 5月・3月(臨時に開催する場合もある) ③ 業務執行理事会 年2回 5月・3月(臨時に開催する場合もある) ④ 経営会議(事務局長・参事・事業企画課長・総務課長) 月1回程度 ⑤ 事務局会議(事務局長・参事・課長・係長・主任) 毎週1回 ⑥ 各係会議 隔週1回程度 ⑦ その他 京都市男女共同参画推進課との連絡会議(京都市主管課との連絡体制として) 毎月1回 <p>(2) 組織</p> <p>(3) 指定管理に関する業務 情報公開 個人情報保護の取り扱い</p> <p>(4) 人事・労務・研修 他機関との交流研修や人材育成研修 目標管理システム</p> <p>(5) 公益法人に関する業務</p> <p>(6) グランドヴィジョン検討委員会</p> <p>(7) その他の財団運営 短時間固有職員制度、メンタルヘルス休職後の復帰プログラムの導入 半期事業報告会の実施 大学インターンシップ受け入れ</p>
2. 課題
財団運営の指針となるグランドビジョンの遂行に向けた職員の人材育成
3. 実績 および 4. 概要と成果
次ページへ
3. 実績 および 4. 概要と成果

(1) 評議員会・理事会の開催・運営

- ① 評議員会(理事改選) 6/17(月)開催
- ② 理事会 第1回 5/28(火)・第2回 3/25(火)開催
- ③ 業務執行理事会 第1回 5/21(火)・第2回 3/18(火)開催
- ④ 経営会議(事務局長・参事・事業企画課長・総務課長) 月1回程度実施
- ⑤ 事務局会議(事務局長・参事・課長・係長・主任) 毎週1回実施
- ⑥ 各係会議 隔週1回程度実施
- ⑦ その他

京都市男女共同参画推進課との連絡会議 毎月1回実施

(2) 組織 <別紙11>参照

(3) 指定管理に関する業務

情報公開 公開件数 5件
個人情報保護の取り扱い 問題なく運用

(4) 人事・労務・研修

- ・職員採用 2名 総務課、事業企画課に各1名配属した。
- ・他機関との交流研修や人材育成研修 <別紙10>参照
- ・チームワーク研修 マシュマロチャレンジ・新聞タワー 固有職員対象 10/23実施
- ・人材育成研修 新人教育に重点を置いて行った。
- ・目標管理システム スケジュール通り実施。

(5) 公益法人に関する業務

- ・平成24年度事業報告 6/28提出
 - ・平成25年度事業計画 3/31提出
- 提出先: 内閣府公益認定等委員会・京都府

(6) グランドヴィジョン検討委員会

- ・第4回 12/17(火)実施
 - ・第5回 3/6(木)実施
 - ・第6回 3/27(木)実施
 - ・職員ミーティング 4/12(金)、4/26(金)、5/24(金)実施
- 検討委員と職員によるミーティングも行い、職員全員によるグランドビジョン作成を目指した。

(7) その他の財団運営

- メンタルヘルス休職後の復帰プログラムの導入
 - ・職員就業規則の見直し(休職者への対応、休職期間)の変更
- 半期事業報告会の実施
 - ・理事、固有職員対象 10/23実施
- 大学インターンシップ受け入れ
 - ・京都華頂大学 2回生 1名 2/3~2/8 5日間

法人	(単位:千円)				
定款	財団運営				
事業名	財務運営		担当者	総務課	
目的	収入の安定と経費削減				
	予算額	執行額	比較増減	会計	法人会計
事業費	3,970	2,769	1,201		

1. 事業計画					
(1)収入の安定 贊助金制度・寄付金制度の導入の検討 助成金の活用 京都市、他都市や企業からの受託・委託事業					
(2)経費削減 LED設備に変更					
2. 課題					
事業収入の拡大					
3. 実績					
(1)収入の安定 ・寄付金制度について周知をはかった。 ・助成金の活用 助成金情報 19件 平成25年度事業 応募数 5件 獲得数 3件 ①「特定求職者雇用開発助成金」 京都労働局 第1期:30万円 第2期:30万円 ②「働く女性を応援する 男性子どもの生活自立支援」 日本テトラパック株式会社 16万円 ③「地域における男女共同参画に関する研修」 全国女性会館協議会 10万円 合計 86万円 【参考】平成24年度獲得数 2件 48万円					
(2)経費削減 ・電気使用量の多い施設にLEDを導入した。					
4. 概要と成果					
(1)収入の安定 ・新規講座への集客、リピーター獲得が難しく、自主事業収入が前年度より91万円減少した。 ・助成金については、38万円増となった。 ・寄付金については、さらに周知をはかり寄付を呼びかけていきたい。					
(2)経費削減 ・LEDを導入したことにより、今後電気使用量と蛍光灯など消耗品の経費削減につながると考えられる。					

入室者数

平成24年度末	平成25年度末
76,279人	89,741人

蔵書数

	平成24年度末	平成25年度末
一般図書	53,227冊	51,053冊
雑誌・ミニコミ・行政資料など	22,552冊	22,875冊
貸出用DVD・ビデオ	689本	698本

図書情報室利用状況

	平成24年度末	平成25年度末
利用登録者数	934人	874人
のべ利用者数	12,727人	12,767人
貸出冊数	30,668冊	32,612冊
DVD・ビデオ貸出数	2,061本	1,611本

予約数

	平成24年度末	平成25年度末
図書	239冊	517冊
雑誌	234冊	357冊
ビデオ	27本	18本
合計	500件	892件

リクエスト数

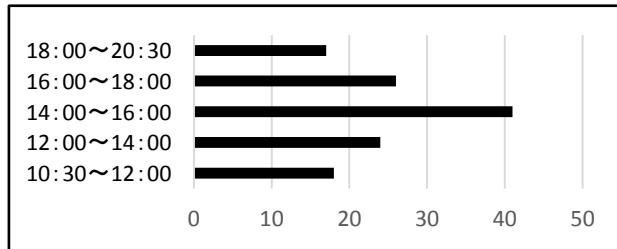
全リクエスト数	内、購入数
78件	12件

研修貸出

研修貸出件数	貸出タイトル数
10件	6タイトル

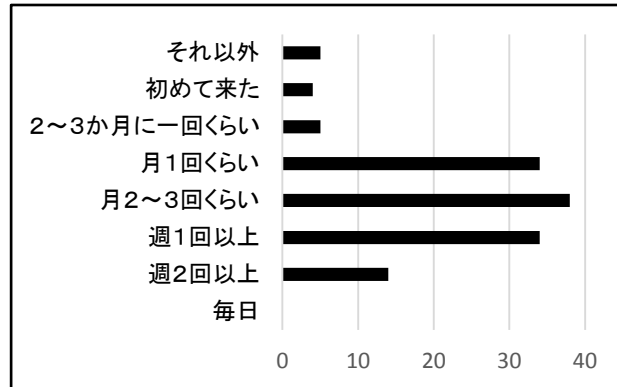
1. 本日の利用時間帯を教えてください(あてはまる時間帯すべて)

10:30~12:00	18
12:00~14:00	24
14:00~16:00	41
16:00~18:00	26
18:00~20:30	17



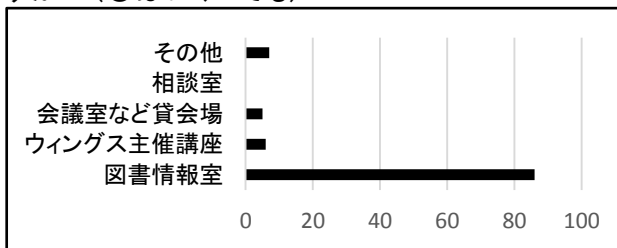
2. 図書情報室へはどのくらいの頻度で来られますか？

毎日	0
週2回以上	14
週1回以上	34
月2~3回くらい	38
月1回くらい	34
2~3か月に一回くらい	5
初めて来た	4
それ以外	5



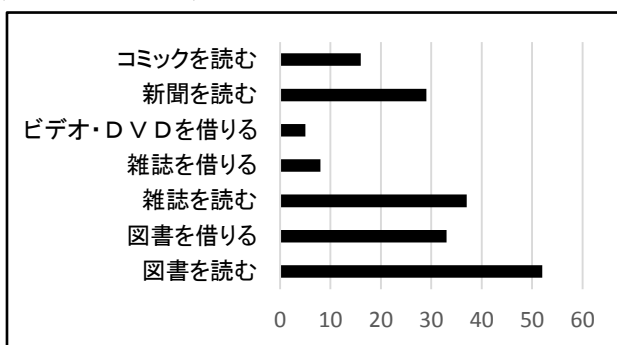
3. 本日のウイングス京都のご利用の目的は何ですか？(○はいくつでも)

図書情報室	86
ウイングス主催講座	6
会議室など貸会場	5
相談室	0
その他	7



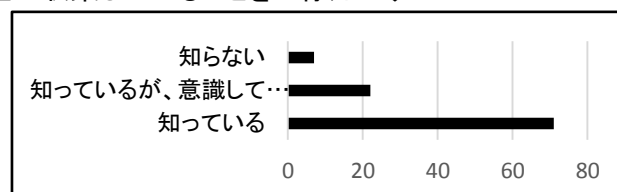
4. 本日の図書室のご利用の目的は何ですか？(○はいくつでも)

図書を読む	52
図書を借りる	33
雑誌を読む	37
雑誌を借りる	8
ビデオ・DVDを借りる	5
新聞を読む	29
コミックを読む	16



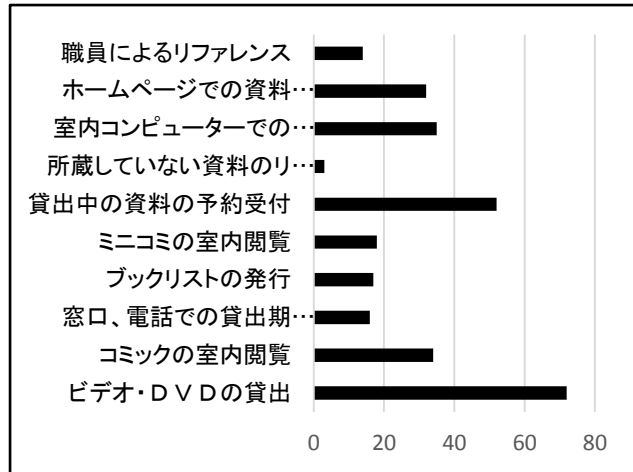
5. この図書室は男女共同参画に関する図書を主に収集していることをご存知ですか？

知っている	71
知っているが、意識してない	22
知らない	7



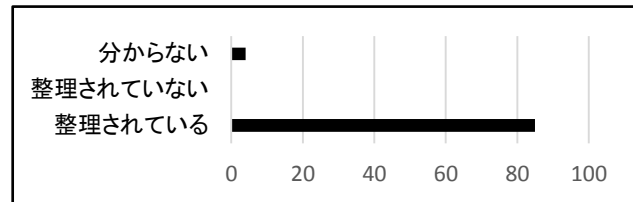
6. 図書室のサービスで知っているものはありますか？(○はいくつでも)

ビデオ・DVDの貸出	72
コミックの室内閲覧	34
窓口、電話での貸出期間の延長	16
ブックリストの発行	17
ミニコミの室内閲覧	18
貸出中の資料の予約受付	52
所蔵していない資料のリクエスト受付	3
室内コンピューターでの資料検索	35
ホームページでの資料検索	32
職員によるリファレンス	14



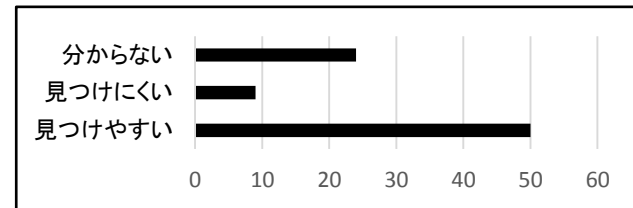
7. 書架はきれいに整理されていますか？

整理されている	85
整理されていない	0
分からない	4



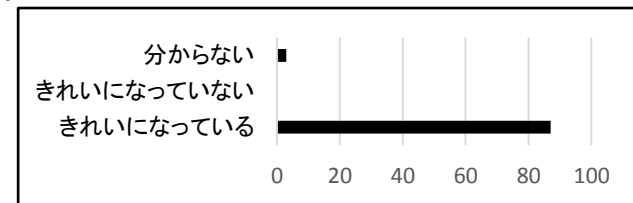
8. 探している資料はすぐに見つかりますか？

見つけやすい	50
見つけにくい	9
分からない	24



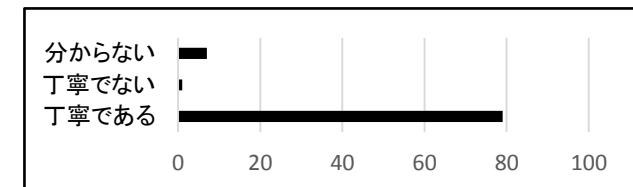
9. テーブルや書架はきれいに清掃されていますか？

きれいになっている	87
きれいになっていない	0
分からない	3



10. 係員の対応は丁寧ですか？

丁寧である	79
丁寧でない	1
分からない	7



<別紙3>

平成25年度「みんなで考える男女共同参画講座」年間利用数

<一般市民対象>

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	3	7	1	6
2	第2四半期	3	22	3	19
3	第3四半期	3	26	21	5
4	第4四半期	3	39	10	29
		12	94	35	59

<企業対象>

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	0	0	0	0
2	第2四半期	0	0	0	0
3	第3四半期	1	12	1	11
4	第4四半期	2	30	18	12
		3	42	19	23

<学校対象>

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	0	0	0	0
2	第2四半期	16	273	93	180
3	第3四半期	0	0	0	0
4	第4四半期	0	0	0	0
		16	273	93	180

<PTA対象>・・・対象無し

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	0	0	0	0
2	第2四半期	1	4	0	4
3	第3四半期	0	0	0	0
4	第4四半期	0	0	0	0
		1	4	0	4

<京都市>

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	0	0	0	0
2	第2四半期	13	421	399	22
3	第3四半期	2	30	22	8
4	第4四半期	0	0	0	0
		15	451	421	30

<その他行政・団体対象>

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	0	0	0	0
2	第2四半期	1	46	7	39
3	第3四半期	1	10	0	10
4	第4四半期	1	9	5	4
		3	65	12	53

平成25年度年間利用数	件数	出席	男	女
合計	50	929	580	349

四半期ごとの利用数	件数	出席	男	女
第1四半期	3	7	1	6
第2四半期	34	766	502	264
第3四半期	7	78	44	34
第4四半期	6	78	33	45

運動実技講座

●フラダンス講座

楽しいフラダンス 月曜 昼 13:15~14:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/8 ~ 7/8	昼	12	32
秋期	9/2 ~12/16	昼	12	35
冬期	1/20~ 3/24	昼	10	35
合計			34	102

講師：レイ・オフ・レナフラスタジオ 高田 美紀

いきいきフラダンス 月曜 昼 15:00~16:00 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/8 ~ 7/8	昼	12	21
秋期	9/2 ~12/16	昼	12	20
冬期	1/20~ 3/24	昼	10	23
合計			34	64

講師：レイ・オフ・レナフラスタジオ代表 森井 レナ他

●ヨガ講座

バランスング・ヨガ 月曜 夜 19:00~20:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/15 ~ 8/5	夜	14	35
秋期	8/26 ~12/9	夜	12	36
冬期	1/6 ~ 3/24	夜	11	32
合計			37	103

講師：ヨガインストラクター 伊藤 加奈子

骨盤ヨガ 金曜 昼 13:15~14:30 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/5~ 7/19	昼	15	36
秋期	9/6 ~12/13	昼	15	37
冬期	1/10 ~3/14	昼	10	35
合計			40	108

講師：ヨガスタジオ TAMISA Ryoko、Yuka

ゆったりヨガ 金曜 昼 15:00~16:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/5~ 7/19	昼	15	35
秋期	9/6 ~12/13	昼	15	27
冬期	1/10 ~3/14	昼	10	26
合計			40	88

講師：ヨガスタジオ TAMISA Ryoko

パワーヨガ (夜コース) 木曜 夜 19:00~20:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/11~ 7/25	夜	16	36 (1)
秋期	8/29 ~ 12/12	夜	16	32 (2)
冬期	1/9 ~ 3/20	夜	11	34 (1)
合計			43	102 (4)

講師：ヨガスタジオ TAMISA Yuli、Erica

●リズムウォーク&ボールエクササイズ講座

木曜 朝 10:00~11:30 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/18 ~ 7/25	朝	15	25
秋期	9/5~12/12	朝	15	24
冬期	1/16 ~ 3/20	朝	10	25
合計			40	74

講師：エアロビクスダンスインストラクター 酒井 祐子

●ピラティス講座

金曜 夜 Reset 19:00~20:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/19~ 8/2	夜	15	38 (2)
秋期	8/30 ~12/20	夜	17	38 (3)
冬期	1/10 ~3/14	夜	10	38 (2)
合計			42	114 (7)

講師：STOTT PILATES 公認インストラクター 近藤 美由紀

土曜 朝 Flow 10:00~11:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/20～ 8/3	朝	15	33 (2)
秋期	8/24 ～12/21	朝	15	32 (1)
冬期	1/11 ～3/15	朝	10	36 (1)
合 計			40	101 (4)

講師：STOTT PILATES 公認インストラクター 池端 美紀

●気功講座

金曜 朝 10：00～11：30 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/12～ 7/26	朝	15	23 (2)
秋期	9/6 ～12/13	朝	15	25 (2)
冬期	1/10 ～3/14	朝	10	23 (2)
合 計			40	71 (1)

講師：京都気功学院講師 矢野 知恵子

●運動講座ビジター

	受講者数 (すべて女性)
春期	18
秋期	1
冬期	12
合 計	34

●笑いヨガ体験

金曜 朝 10：00～11：30 定員各 35 人

実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
2/13	朝	1	24 (1)
2/27	朝	1	28 (2)
合 計		2	52 (3)

講師：笑いヨガリーダー 玉木 悦子

歌講座

●歌講座

楽しいコーラス(初級)

月曜 13:30~15:00 定員各 40 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/15 ~ 7/29	昼	13	23
秋期	9/2 ~ 12/9	昼	11	17
冬期	1/20 ~ 3/24	昼	10	27
合計			34	67

講師：声楽指導 玉木 悦子

シネマ&ミュージカルを歌う

木曜 13:30~15:00 定員各 40 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/11 ~ 7/18	昼	15	14
秋期	9/12 ~ 12/19	昼	15	22
冬期	1/9 ~ 3/13	昼	10	20
合計			40	56

講師：声楽トレーナー 安藤 邦子

楽しいゴスペル&ポップス

木曜 15:30~17:00 定員各 40 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/11 ~ 7/18	昼	15	37 (5)
秋期	9/12 ~ 12/19	昼	15	33 (4)
冬期	1/9 ~ 3/13	昼	10	35 (4)
合計			40	105 (9)

講師：声楽トレーナー 安藤 邦子

こころやわらぐ愛唱歌をうたう

金曜 13:30~15:00 定員各 40 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/19 ~ 8/2	昼	15	38 (3)
秋期	8/30 ~ 12/20	昼	17	38 (3)
冬期	1/10 ~ 3/14	昼	10	38 (2)
合計			42	114 (8)

講師：声楽トレーナー 安藤 邦子

●歌講座ビジター

	受講者数 (うち男性)
--	-------------

春期	10
秋期	9 (1)
冬期	2
合 計	21

●歌声喫茶 月1回×12回（うち拡大版3回）

歌声喫茶

金曜 18:30～20:30 定員各 50 人

実施日	時間帯	回数	受講者数（うち男性）
4/19	夜	1	65 (9)
5/17	夜	1	69 (9)
6/21	夜	1	65 (14)
7/19	夜	1	70 (7)
8/9	夜	1	67 (10)
10/18	夜	1	67 (12)
12/20	夜	1	73 (15)
2/21	夜	1	70 (15)
3/14	夜	1	67 (12)
合 計		9	613 (103)

講師：リーダー 島田 静雄

歌声喫茶 拡大版！

土曜 14:00～16:00 定員 200 人

実施日	時間帯	回数	受講者数（うち男性）
9/14	昼	1	174 (19)
11/2	昼	1	191 (24)
1/18	昼	1	179 (26)
合 計		3	544 (69)

講師：リーダー 島田 静雄

朗読講座

やさしい朗読講座（秋期から「朗読講座 アラカルト」に名称変更）

月曜 10:00～11:30 定員各 20 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/22 ~ 7/8	朝	6	16 (1)
秋期	10/7 ~12/16	朝	6	17 (2)
冬期	1/20~ 3/17	朝	6	12 (1)
合 計			18	45 (3)

講師：フリーアナウンサー 星野 祐美子

もっと×2楽しむ朗読講座 (秋期から「朗読講座 テーマ別」に名称変更)
月曜 13:30~15:00 定員各 20人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/22 ~ 7/8	昼	6	20 (1)
秋期	10/7 ~12/16	昼	6	21 (1)
冬期	1/20~ 3/17	昼	6	17 (1)
合 計			18	58 (3)

講師：フリーアナウンサー 星野 祐美子

(4) 保育事業

全体

	保育実施回数	子どもの人数	保育者の人数
マザーグース	260回	509人	544人
他団体	0回	0人	0人
合計	260回	509人	544人

講座保育

	保育実施回数	子どもの人数	保育者の人数
マザーグース	192回	424人	450人
他団体	0回	0人	0人
合計	192回	424人	450人

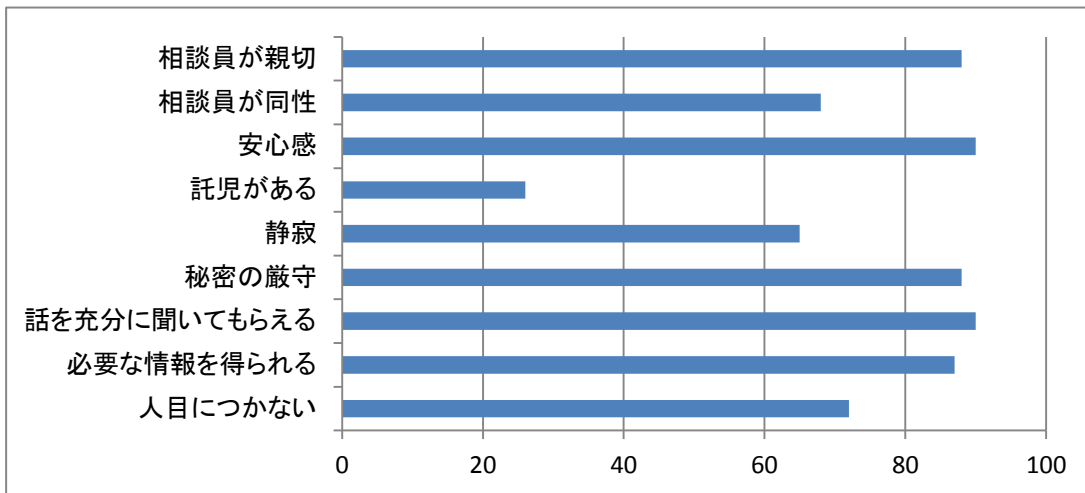
一時保育

	保育実施回数	子どもの人数	保育者の人数
マザーグース	68回 (内、相談保育 25回)	85人	94人

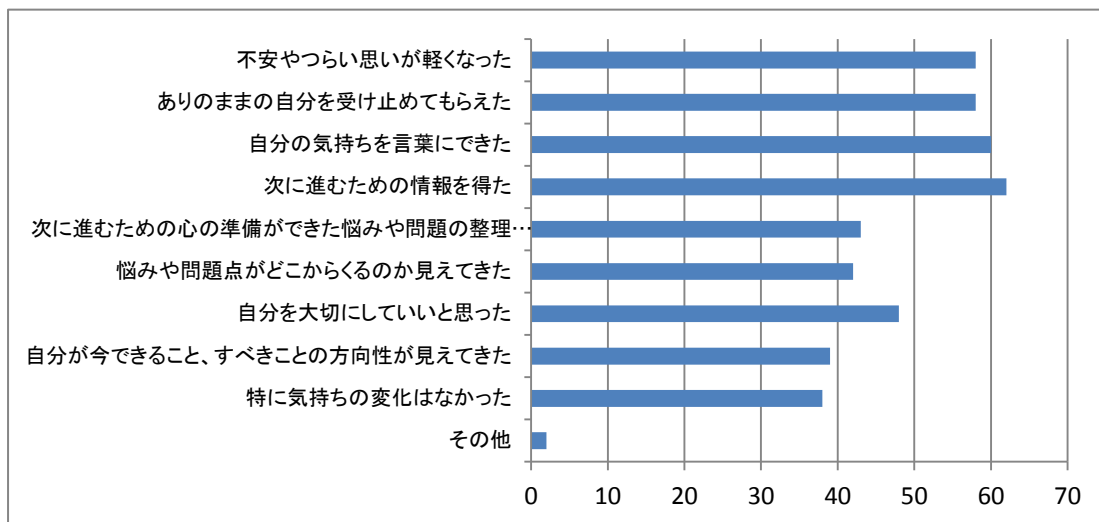
ふれあいひろば

	実施回数	参加者数	
		大人的人数	子どもの人数
マザーグース	12回	93人	94人

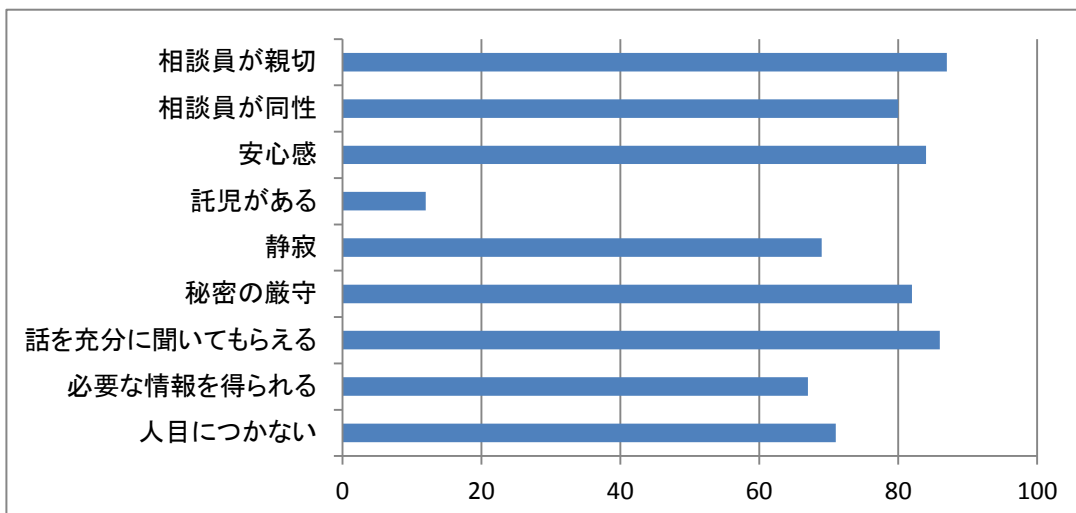
1.ウイングス京都相談室にどのようなことを期待されますか？



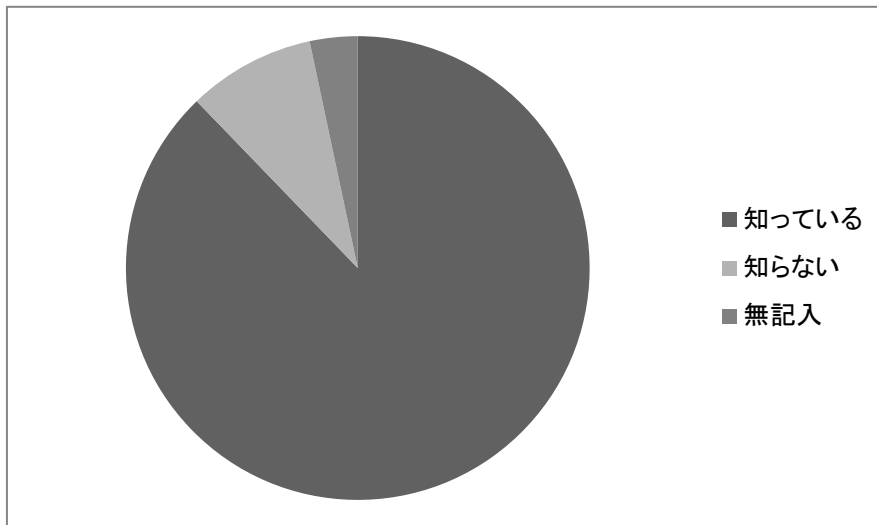
2.今日の相談はどのようにやりましたか？



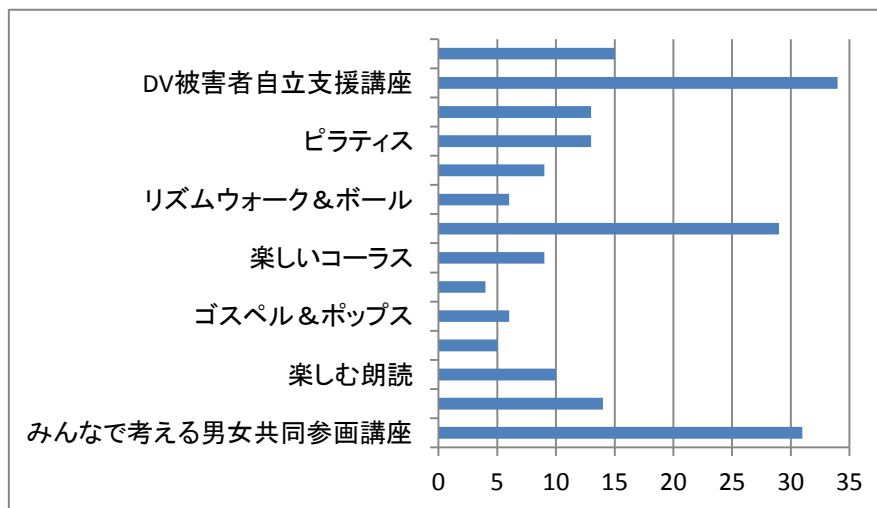
3.今日の相談はいかがでしたか



4. 図書情報室があることを知っていますか？



◆知っているセミナーや講座を教えてください



<別紙 7>

共催・後援事業

	団体名	テーマ	実施日	参加者数 (のべ)
1	有限会社クリブキルト	ピンクリボントークショー	6/5 (水) 6/6(木)	-
2	高齢社会をよくする女性の会・京都事務局	上野千鶴子氏講演会 ケアの社会学—〈よいケア〉とは何か	9/15 (日)	219
3	京都アート フリーマーケット 実行委員会	京都アートフリーマーケット 2013 秋	9/21(金)～ 23(日)	-
4	龍谷大学政策学部 松浦さと子	〈オンナ・コドモ〉のジャーナリズム 福島のお母さんとともに	9/23 (木)	120
5	京都市長寿すこやかセンター	「ケアメン」男性介護者の介護実態と その課題	12/16 (月)	80
6	京都アート フリーマーケット 実行委員会	京都アートフリーマーケット 2014 春	3/21(金)～ 23(日)	-

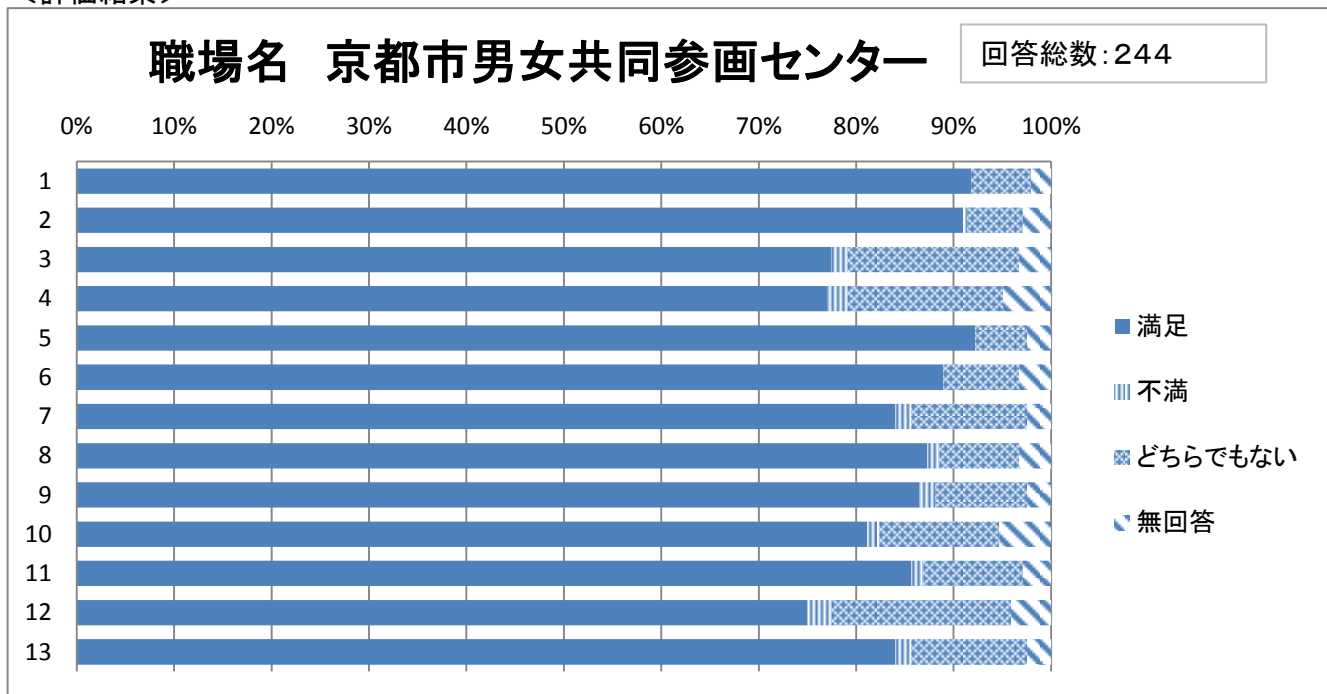
京都市男女共同参画センター

1 窓口アンケートの各職場の評価結果について

<アンケート項目>

- | | |
|------------------------|------------------------|
| ① あいさつはきちんとできていましたか。 | ⑧ 姿勢や態度は、誠実さが感じられましたか。 |
| ② 言葉づかいはいいでしたか。 | ⑨ 説明は親切で、いいでしたか。 |
| ③ 職員からの声かけはできていましたか。 | ⑩ 説明は的確でわかりやすかったですか。 |
| ④ 待ち時間はいかがでしたか。 | ⑪ 整理、整頓は行き届いていましたか。 |
| ⑤ 服装や髪などは清潔感がありましたか。 | ⑫ 案内表示はわかりやすかったですか。 |
| ⑥ 服装などは業務にふさわしいものでしたか。 | ⑬ 雰囲気はいかがでしたか。 |
| ⑦ 笑顔など、表情は感じがよかったですか。 | |

<評価結果>



2 自由記載欄に記入していただいた主な御意見等

- ・大満足しています。言葉遣いや臨機応変な対応は素晴らしい。(4件)
- ・長年使っている団体は安くするか、予約しやすくするか配慮があると嬉しい。
- ・段取りが悪い時がある。
- ・職員さんたちにもっと笑顔が在れば良かった。
- ・窓口の表示がわかりにくい。
- ・地下のジムは宣伝不足のため、もっとアピールすべき。
- ・図書情報室のカウンターの人はとても良い感じだが、貸館業務のカウンターの人が雑談をしている。
- ・洋式トイレのレバーが動かない時がある。洋式トイレが少ない。
- ・トイレや更衣室にほこりが目立つ時がある。
- ・警備員の言葉遣いや態度に注意をするべき。
- ・照明が暗い。騒音、空調、換気の問題がある時がある。
- ・貸出できる本少ない。新しい本が読みたい。

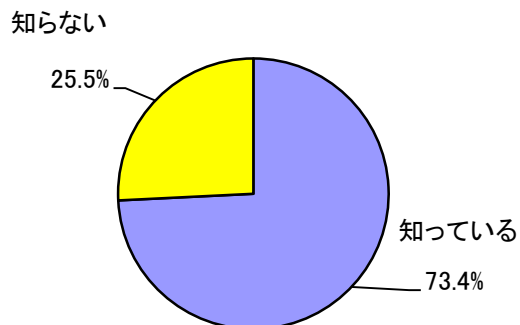
中京区民ふれあい祭2013アンケート

<別紙9>

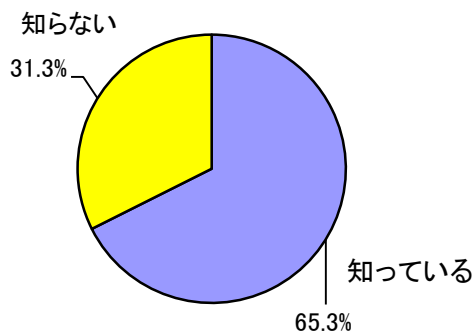
実施日：2013年10月27日(日)

回収数：259

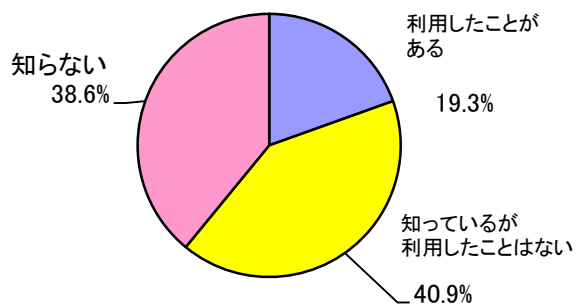
【設問1】「ウイングス京都」をご存知ですか？



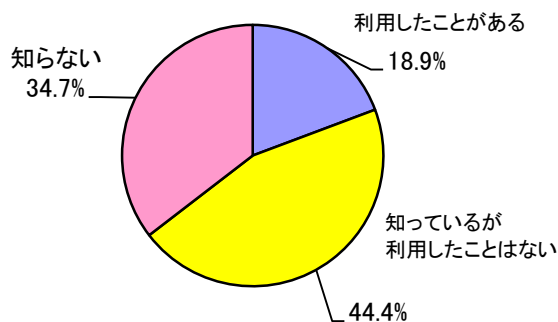
【設問2】どこにあるかご存知ですか？



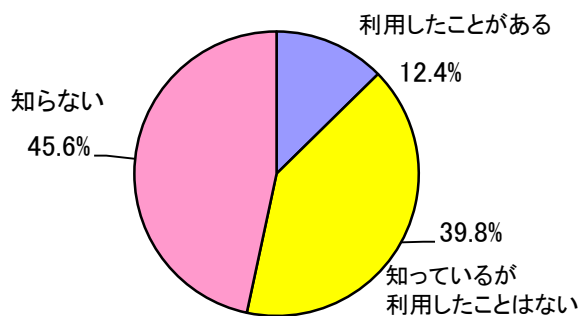
【設問3】会議室やスポーツルームの貸出を口知っていますか



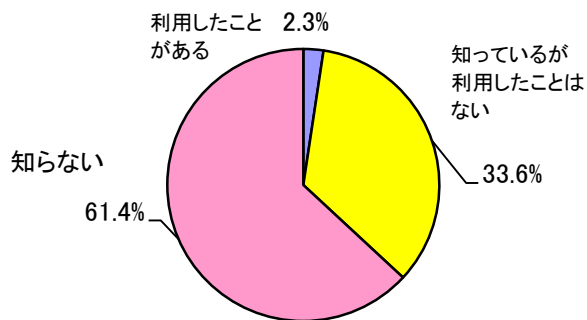
【設問4】たくさんの講座やイベントを行っています、知っていますか



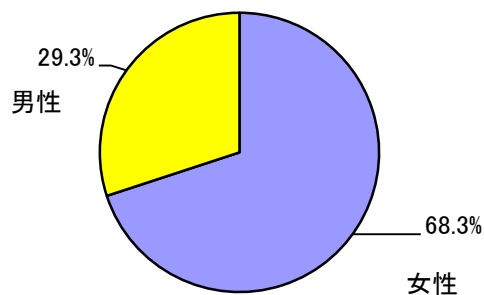
【設問5】図書情報室で図書や雑誌、DVDの貸出、コミックの閲覧などを行っていることを知っていますか



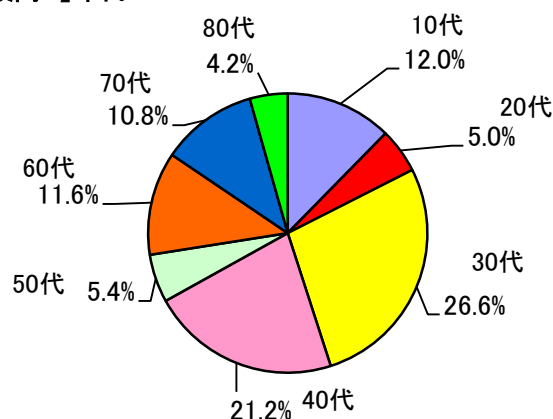
【設問6】さまざまな相談を受けていますが、知っていますか



【設問8】性別



【設問9】年代



平成25年度研修一覧

●総務関係(公益法人等)

<別紙10>

NO	研修内容	実施日	対象	参加人数
1	公益・一般法人への移行後の理事・監事のための決算書の読み方	4/3	総務課	1
2	労働関係法改正に対する実務対応 有期労働契約の無期転換ルール 高年齢者雇用安定法等	5/9	総務課	1
3	京都微助っ人研究会 総会・春の例会 いきいき職場づくり～メンタルヘルスをリスクマネジメントの観点から考える	5/14	総務課 事業企画課	2
4	公益法人の信任役職員のための会計基準と新制度の概要	6/21	総務課	2
5	内定者向け研修 意識改革・コンプライアンス・企業倫理	6/25	総務課	1
6	50歳代職員のキャリア開発支援	7/16	総務課	1
7	公益法人への「行政庁の監督」と留意事項	8/29	総務課	1
8	パートタイム労働者雇用管理セミナー	10/21	総務課	1
9	中小企業の労務管理セミナー	10/4	総務課	1
10	具体事例から再確認する公益法人税務の基礎	9/30	総務課	1
11	公益法人立入検査への対応実務セミナーのご案内	10/15	総務課	1
12	全国公益法人協会 12月期定期講座	12/10	総務課	1
13	全国公益法人協会 1月期定期講座	1/16	総務課	1
14	ワーク・ライフ・バランスセミナー 経営者セミナー 介護離職は企業の損失！ リスクマネジメントの必要性	11/22	総務課	2
15	平成25年度総務省「テレワーク全国展開プロジェクト」総務省主催 「テレワーク導入推進セミナー・個別相談会」	12/6	総務課	1
16	第2回 健康保険・年金委員合同研修会	2/20	総務課	1
17	政令都市男女共同参画センター合同研修会・意見交換会について	2/26	総務課	1
18	KES登録企業向けリフレッシュセミナー	1/28	総務課	1
19	評価に関する公開学習会(男女共同参画政策推進に向けた評価に関する研究会)	2/27	総務課	1

●事業関係

1	女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修	6/12～ 6/14	事業企画課	1
2	男性にとっての男女共同参画に関する研修会	9/20	事業企画課	1
3	京都経営者協会第一部会 平成25年度第3回研究会 岩田喜美枝氏講演会	12/13	事業企画課	1

●相談関係

1	男性に対する相談体制整備に関する主たる担当者向け研修会 内閣府	6/24 9/10	事業企画課	1
2	女性のための相談事業に係る担当者のための研修プログラム	6/6	事業企画課	1
3	男女共同参画施策に関わる職員・女性相談に関わる相談員のための研修プログラム 大阪府内7ブロック情報交換・事例検討会から 見えてきた課題を施策・事業に活かすために	1/16	事業企画課	1
4	事例紹介「被害者支援における他機関連携について」／発表「警察におけるワンストップ支援センターの設置に向けた取り組みについて」	2/7	事業企画課	1
5	男女共同参画社会をめざす相談事業のあり方 ～自立とエンパワメントのための相談事業とは～	6/6	事業企画課	1
6	基調講演「男女共同参画と男性の役割・男性相談の意義」	6/24	事業企画課	1
7	行政説明「男性に対する相談体制整備マニュアルの概要」	9/10	事業企画課	1
8	相談員のためのはじめての男女共同参画講座	5月実施	事業企画課	1
9	双方の相談分野を理解するための研修	8/9	事業企画課	2
10	専門相談員を交えた事例発表	11/30	事業企画課	11
11	面会交流の持ち方、養育費確保の方法など	12/12	事業企画課	2
12	専門相談員を交えたスーパービジョン	3/30	事業企画課	13

●新任研修関係

1	はじめての男女共同参画講座	10/17	総務課 事業企画課	2
2	全国女性会館協議会第57回全国大会IN三重	11/3	総務課 事業企画課	2
3	第7回企業向け人権啓発講座 「我が社でできる」ワークライフバランスのすすめについて	12/13	総務課 事業企画課	2

●合同研修

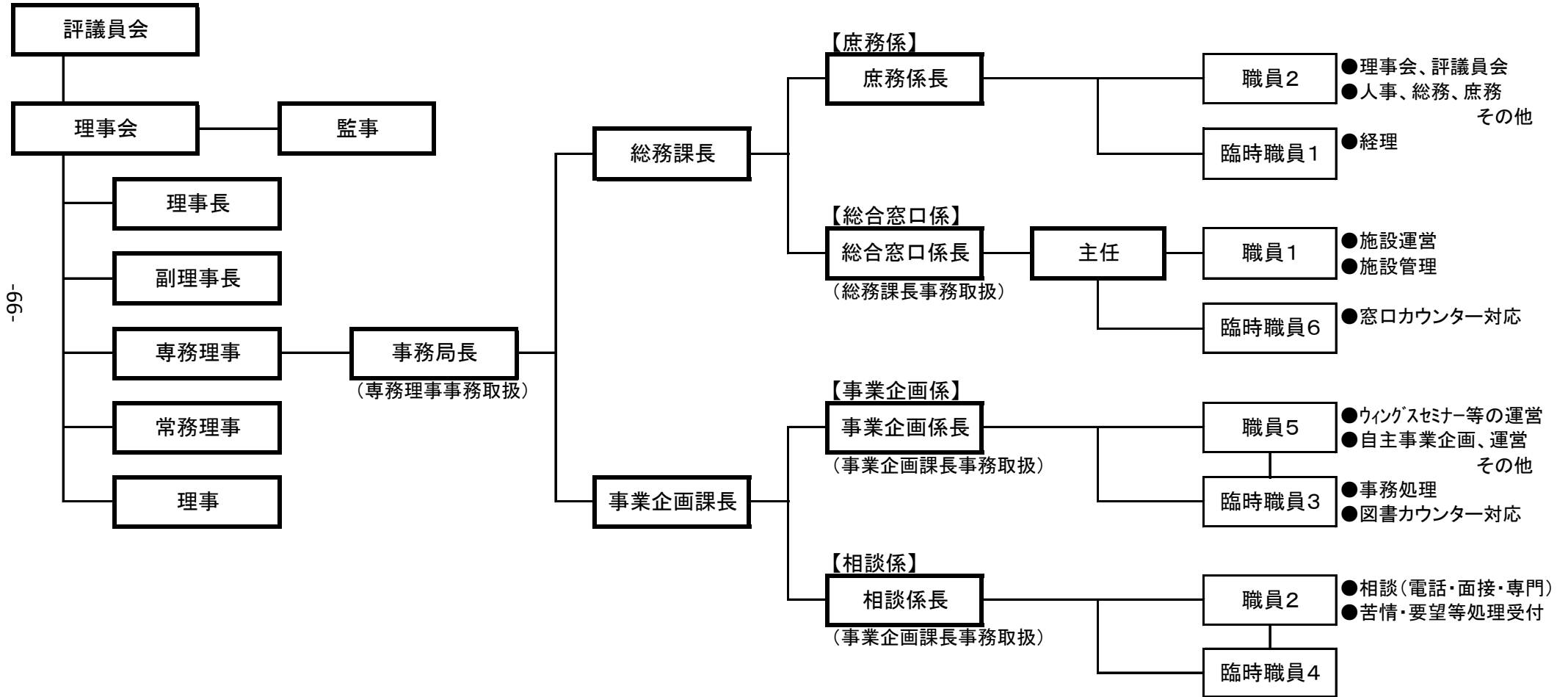
1	イベントホール受付業務の研修	4/16.18.22	職員	6
2	交流研修 ウィングスきょうとにおける相談業務の現状について	8/9	京都市教育総合センター合同	10
3	チームワーク研修 マシュマロチャレンジ・新聞紙タワー	10/23	固有職員	12
4	付属設備業務の研修	10/5.11	臨時職員	2
5	京都府ワークライフバランスアドバイザー打ち合わせ	11/29	総務課	2
6	みんなで考える男女共同参画講座 DVを知る、考える	2/6	臨時職員	2

●危機管理関係

1	消防訓練 館内設備、避難経路の確認	6/27.28.7/5	新任職員	7
2	消防訓練 指揮官研修	1/27.1/31	管理職職員	8
3	消防訓練 地震訓練	10/23	全職員	47

組織体制(平成26年4月現在)

<別紙11>



平成25年度 京都市男女共同参画センター利用状況(時間帯別)

(単位:%)

	日数使用率※	区分使用率			
		午前	午後	夜間	平均
イベントホール	54.3	40.7	51.7	32.8	41.7
スポーツルーム西	99.0	89.3	82.7	94.6	88.9
スポーツルーム東	98.1	75.4	62.7	90.6	76.2
セミナー室 A	94.5	61.2	87.7	61.7	70.2
セミナー室 B	87.4	56.0	76.7	50.8	61.2
会議室 1	98.1	65.1	92.1	71.0	76.1
会議室 2	95.5	61.4	92.0	61.1	71.5
会議室 3	100.0	95.4	98.8	91.2	95.1
会議室 4	99.0	91.9	96.1	84.3	90.8
会議室 5	98.0	91.3	96.5	82.1	89.9
会議室 6	97.1	84.4	96.5	73.8	84.9
小会議室 A	97.8	91.3	95.9	92.8	93.3
小会議室 B	98.0	87.0	97.4	79.8	88.1
小会議室 C	98.1	89.6	96.8	77.3	87.9
小会議室 D	98.4	86.4	95.6	69.3	83.7
小会議室 E	94.9	72.6	91.0	66.9	76.8
和室 A	73.7	37.9	66.9	36.9	47.2
和室 B	81.5	38.5	76.0	38.1	50.8
ビデオシアター	84.3	43.9	76.5	38.3	52.9
音楽室	95.8	69.3	90.2	48.2	69.2
調理コーナー	78.5	50.4	73.2	23.7	49.1
フィットネスルーム	92.0	69.9	71.5	92.2	77.9
全室平均使用率	91.5	70.4	84.7	66.2	73.8
入館者総数	504,342 人(一日平均 1,635 人)				
年間開所日数	308 日				